

豊田地域医療センター病院年報

平成 2 7 年度

< 目次 >

1	病院理念と基本方針	1
2	発刊にあたり	2
3	病院機能	
3.1	施設概要	3
3.2	各種指定・学会認定等	4
3.2.1	各種指定	
3.2.2	学会認定	
3.2.3	病院機能評価	
3.2.4	人間ドック健診施設機能評価	
3.3	施設基準	5
3.4	組織図	6
3.5	医療機器	7
3.5.1	主な医療機器	
3.5.2	主な医療システム	
4	業務状況	
4.1	診療実績	
4.1.1	科別患者数	8
4.1.2	地域別患者数	10
4.1.3	年齢構成別患者数	11
4.2	健診実績	
4.2.1	総合健診（人間ドック）受診者数	12
4.2.2	総合健診（人間ドック）地域別受診者数	13
4.2.3	他の健診受診者数	13
4.2.4	集団検診受診者数	14
4.2.5	学校健診	14
4.3	地域医療連携実績	
4.3.1	紹介患者実績	15
4.3.2	医療相談実績	15
4.4	在宅実績	
4.4.1	地域包括支援実績	16
4.4.2	居宅介護支援実績	16
4.4.3	訪問看護実績	16
4.4.4	訪問診療実績	17
4.5	部門実績	
4.5.1	医療安全管理部門	18
4.5.2	感染管理部門	19
4.5.3	診療部門	21
4.5.4	薬剤部門	22
4.5.5	診療放射線部門	23

4.5.6	臨床検査部門	23
4.5.7	手術部門	24
4.5.8	リハビリテーション部門	25
5	委員会状況	
5.1	委員会一覧	26
5.2	主な委員会の活動報告	
5.2.1	医療安全管理委員会	27
5.2.2	院内感染対策委員会・ICT委員会	29
5.2.3	健診運営委員会	31
5.2.4	サービス向上委員会	32
5.2.5	IT委員会	34
5.2.6	診療報酬委員会	35
5.2.7	内視鏡室運営委員会	36
5.2.8	栄養管理委員会	38
5.2.9	NST委員会	40
5.2.10	褥瘡防止対策委員会	41
5.2.11	薬事材料委員会	43
5.2.12	臨床検査適正化・輸血療法委員会	44
5.2.13	入退院判定会	45
5.2.14	災害対策委員会	46
5.2.15	広報委員会	48
5.2.16	衛生委員会	49
6	講演、学会、研修会等の発表	50
7	研修状況	
7.1	研修会	52
8	実習状況	
8.1	学生実習	53
8.2	職場体験学習	54

病院理念

私たちは、医療・保健・福祉を通して、
地域のみなさまの生命を守り、
健康で生きがいのある生活を支援します。

基本方針

- 1 救急医療から慢性期医療・在宅支援まで、患者さまの立場にたった総合的医療を提供します。
- 2 健診事業の充実を図り、疾病の予防・早期発見を通して、地域のみなさまの健康増進に努めます。
- 3 地域の医療機関との連携を密にして、患者さまに適切な医療サービスを提供します。
- 4 良質な医療を提供するために、働きがいのある職場環境を整え、医療技術と知識及びモラルの向上に努めます。

豊田地域医療センター 院長

2 発刊にあたり

平成 27 年度病院年報

公益財団法人 豊田地域医療センター

院長

井野晶夫

いつも豊田地域医療センターにご支援・ご指導を頂き有難うございます。「豊田地域医療センター病院年報 平成 27 年度」をお届けいたします。

平成27年は1月にパリでの出版社銃撃に始まり、続いて日本人2人がシリアで拘束、殺害される事件もあり、11月にはやはりパリで同時多発テロが起こり、イスラム過激派に関連した不条理な事件が絶えない1年でした。また一方、明るいニュースとしては10月にラグビーW杯で、国際試合で勝った経験がほとんどない日本が3勝という歴史的快挙を成し遂げたことが挙げられます。日本チームが、強豪の南アフリカを破ったことは、ラグビーに縁のない人も何か力づけられたような気持ちになったニュースでした。また昨年に続き、ノーベル賞を医学・生理学部門で大村氏、物理学部門で梶田氏が受賞するというすばらしいニュースもありました。

平成 27 年度の病院事業について振り返ってみたいと思います。再整備建設事業では平成 27 年 12 月に基礎となる基本設計が完了し、平成 33 年の新棟開院を目指して来年度から実施設計へと進みます。新棟は 7 階建で低層階に外来、リハビリの診療部門を配置し、高層階に計 190 床の病棟を配置します。現在の西棟と南棟は改修して、南棟には健診部門と管理部門を配置します。設計コンセプトとしては「患者目線で優しい環境」と「地域医療の推進」を掲げ、快適で安心できる療養環境や在宅復帰を進めるためのリハビリ環境の向上、多職種連携のための機能集約、総合診療体制を維持するための医師育成を特徴としています。また、6 月 2 日には豊田市、豊田加茂医師会、藤田保健衛生大学と「在宅医療推進に関する連携協定」を締結しました。この協定はこの地域で充実した地域医療を提供できる基盤の一つになるものと期待しております。当センターでは 8 月からは強化型在宅療養支援病院としての診療を始めることができ、利用患者数も予想以上の増加を見えています。今後、センターでの組織、職員や体制の強化に加え、当センターがハブとなって地域医療を円滑に進める体制づくりも重要な課題と考えられます。

ここに当センター各部門の業務状況と主な委員会の活動状況を病院年報 平成 27 年度としてまとめました。ご一読頂ければ幸いです。

豊田地域医療センターの更なる発展のために今後とも努力いたします。皆様のなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

3. 病院機能

3.1 施設概要

平成 27 年 4 月 1 日現在

所在地

〒471-0062

愛知県豊田市西山町 3 丁目 30 番地 1

連絡先

0565-34-3000（代表）

ホームページアドレス

<http://www.toyotachiiki-mc.or.jp>

敷地面積

33,505.90 m²

診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、神経内科、外科、
整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、泌尿器科、放射線科、歯科

病床数

一般病床 80 床

回復期リハビリテーション病床 30 床

療養病床 40 床

施設規模

施 設	構 造	延床面積
病院本体	鉄筋コンクリート造	17,810.58 m ²
	地下 1 階地上 4 階建	
MR I 棟	鉄筋コンクリート造	119.36 m ²
	平屋建	
倉庫（旧感染症病棟）	鉄筋コンクリート造	651.01 m ²
	地下 1 階地上 2 階建	
豊田地域看護専門学校	鉄筋コンクリート造	3,029.73 m ²
	3 階建	
体育館	鉄筋コンクリート造	686.99 m ²
	平屋一部 2 階建	

職員数

事務局		病院部門																教育部門			合 計	
事務員			医師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	保健師	看護師	准看護師	社会福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	事務員	技能員		看護師		事務員
2	2	243	17	7	17	19	13	11	4	3	5	98	1	4	8	3	31	2	15	13	2	260

3.2 各種指定・学会認定等

平成 27 年 4 月 1 日現在

3.2.1 各種指定

社会保険等指定	保険医療機関
	結核医療機関
	労災保険指定医療機関
	労災保険二次健康診断等給付医療機関
	生活保護法指定指定機関
	被爆者一般疾病医療機関
	指定自立支援医療機関（精神通院医療）
	B 型・C 型肝炎患者医療給付事業指定医療機関
	難病医療協力病院
	救急告示医療機関
各種指定	藤田保健衛生大学病院臨床研修協力医療機関
	豊田地域看護専門学校実習指定病院
	国土交通省短期入院協力指定病院（交通事故後の重症後遺症）

3.2.2 学会認定

日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本脳ドック学会認定施設

3.2.3 病院機能評価

認定機関	公益財団法人 日本医療機能評価機構
バージョン	3 r d G : V e r 1 . 0
種別・区分	一般病院（100 床以上）（主たる機能）
認定日	2013-11-01
認定番号	JC1558-2
認定有効期限	2018-09-28

3.2.4 人間ドック健診施設機能評価

認定機関	公益財団法人 日本人間ドック学会
バージョン	2.0
認定日	2013-04-20
認定番号	306
認定有効期限	2018-03-31

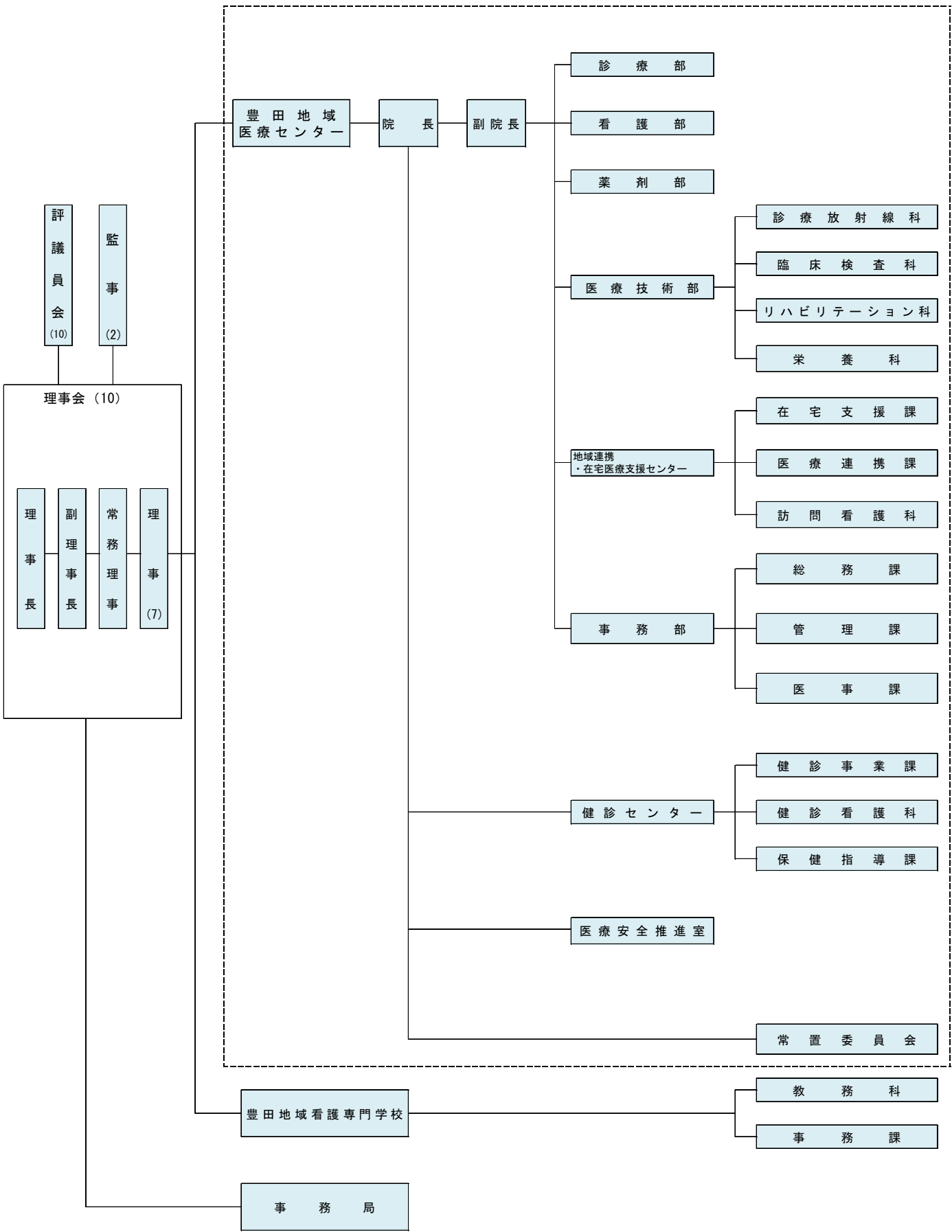
3.3 施設基準

平成 27 年 9 月 1 日現在

届出名称	受理番号	算定開始年月日
一般病棟入院基本料	(一般入院) 第2590号	平成26年 9月 1日
療養病棟入院基本料	(療養入院) 第850号	平成25年11月 1日
救急医療管理加算	(救急加算) 第15号	平成22年 4月 1日
診療録管理体制加算 1	(診療録1) 第13号	平成26年 4月 1日
急性期看護補助体制加算	(急性看護) 第418号	平成27年 6月 1日
療養環境加算	(療) 第179号	平成20年 8月 1日
重症者等療養環境特別加算	(重) 第80号	平成 3年 4月 1日
療養病棟療養環境加算 1	(療養 1) 第137号	平成25年 4月 1日
栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第73号	平成26年 6月 1日
医療安全対策加算 1	(医療安全1) 第109号	平成20年 4月 1日
感染防止対策加算 1	(感染防止 1) 第63号	平成26年 6月 1日
退院調整加算	(退院) 第53号	平成24年 4月 1日
救急搬送患者地域連携紹介加算	(救急紹介) 第102号	平成24年 4月 1日
救急搬送患者地域連携受入加算	(救急受入) 第7号	平成22年 4月 1日
総合評価加算	(総合評価) 第30号	平成23年 8月 1日
後発医薬品使用体制加算 2	(後発使 2) 第68号	平成22年10月 1日
回復期リハビリテーション病棟入院料2	(回 2) 第137号	平成23年 7月 1日
入院時食事療養 (I) ・入院時生活療養 (I)	(食) 第316号	平成 3年 3月30日
がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第65号	平成22年 4月 1日
小児科外来診療料	(小外) 第326号	平成 8年 4月 1日
夜間休日救急搬送医学管理料	(夜救管) 第17号	平成24年 4月 1日
ニコチン依存症管理料	(ニコ) 第317号	平成20年 7月 1日
地域連携診療計画退院時指導料 (I)	(地連携) 第97号	平成19年 3月 1日
がん治療連携指導料	(がん指) 第904号	平成25年 7月 1日
薬剤管理指導料	(薬) 第414号	平成22年 4月 1日
医療機器安全管理料 1	(機安1) 第59号	平成20年 4月 1日
別添1の「第14の2」の1の(1)に規定する在宅療養支援病院	(支援病1) 第18号	平成27年 8月 1日
在宅時医学総合管理料又は特定施設入居時等医学総合管理料	(在医総管) 第1535号	平成27年 4月 1日
在宅がん医療総合診療料	(在総) 第1773号	平成27年 6月 1日
検体検査管理加算 (I)	(検I) 第276号	平成20年 4月 1日
検体検査管理加算 (II)	(検II) 第44号	平成20年 4月 1日
画像診断管理加算 2	(画2) 第69号	平成20年 4月 1日
C T撮影及びMR I撮影	(C・M) 第622号	平成24年 4月 1日
冠動脈C T撮影加算	(冠動C) 第26号	平成21年 1月 1日
大腸C T撮影加算	(大腸C) 第10号	平成24年 4月 1日
心臓MR I撮影加算	(心臓M) 第13号	平成20年 4月 1日
無菌製剤処理料	(菌) 第197号	平成21年12月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	(脳I) 第99号	平成24年 4月 1日
運動器リハビリテーション料 (I)	(運I) 第47号	平成24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	(呼I) 第70号	平成24年 4月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術	(通手) 第325号	平成20年 4月 1日
胃瘻造設術	(胃瘻造) 第26号	平成26年 4月 1日
輸血管理料 II	(輸血II) 第23号	平成19年 3月 1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第24号	平成26年 4月 1日
酸素単価	(酸単) 第20126号	平成27年 4月 1日

3. 4 組織図

平成 27 年 4 月 1 日現在



3.5 医療機器

平成 27 年 3 月 31 日現在

3.5.1 主な医療機器

部門	備品名	台数
画像診断	一般撮影装置	4
	X線テレビ装置	6
	乳房軟線撮影装置	2
	パノラマ撮影装置	1
	C T (6 4 列)	1
	M R I (1 . 5 テスラ)	1
	骨塩定量測定装置	1
内視鏡検査	気管支ファイバースコープ	1
	上部消化管ファイバースコープ	5
	下部消化管ファイバースコープ	3
検体検査	検査分析装置	7
生理検査	腹部超音波診断装置	7
	心臓超音波診断装置	1
	乳腺・その他超音波診断装置	2
認知機能検査	A D A S (D T - N a v i)	2

3.5.2 主な医療システム

備品名	メーカー	システム名
電子カルテシステム	富士通	HOPE-EGMAIN-NX
健診システム	日立メディコ	ヘルゼアネクスト
P A C S	東芝	RapideyeCore

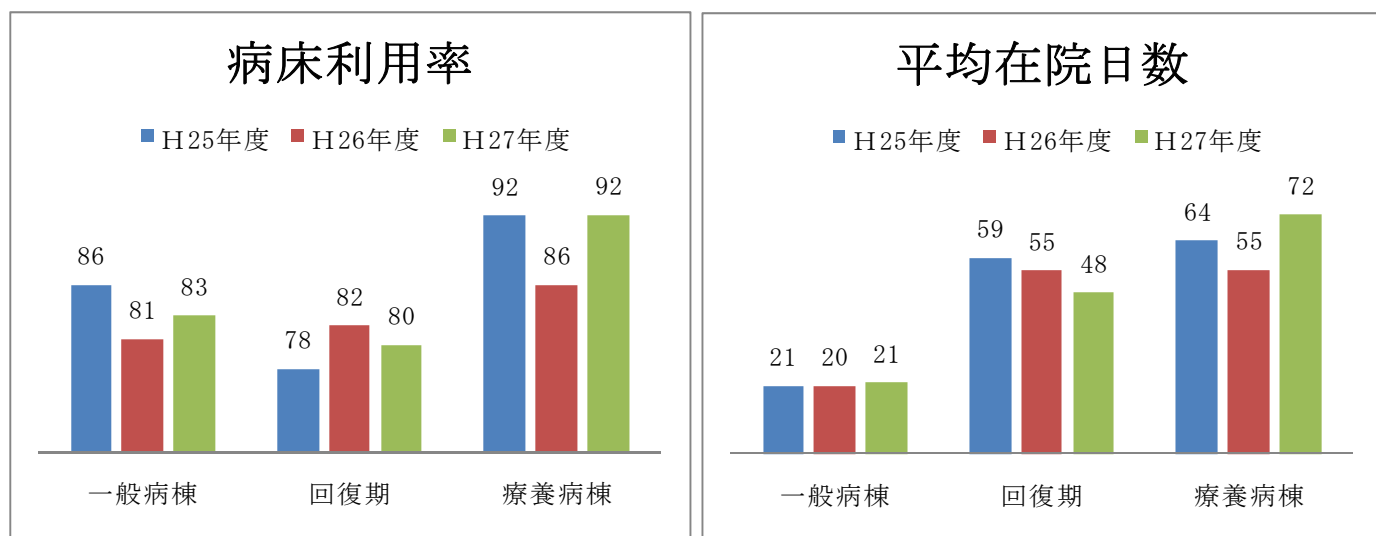
4. 業務状況

4.1 診療実績

4.1.1 科別患者数

区 分			患者数	1 日 平 均	前 年 度	前 年 度 比 %	診 療 日 数	
								前 年 度
外 来	救 急 外 来	内 科	11,227人	31人	11,613人	96.7%	366日	365日
		小 児 科	3,578人	10人	3,684人	97.1%		
		外 科	5,020人	14人	4,772人	105.2%		
		歯 科	492人	7人	513人	95.9%	75日	75日
		小 計	20,317人		20,582人	98.7%		
	一 般 ・ 専 門 外 来	総合診療科 (再掲) 訪問診療	7,618人 (1,220人)	26人 (4人)	1,905人 (183人)	399.9% (666.7%)	294日	293日
		消化器内科	7,186人	24人	9,099人	79.0%		
		循環器内科	4,393人	15人	4,503人	97.6%		
		呼吸器内科	2,238人	8人	3,441人	65.0%		
		神 経 内 科	1,503人	5人	1,430人	105.1%		
		外 科	5,350人	18人	5,707人	93.7%		
		整 形 外 科	4,553人	16人	4,971人	91.6%		
		脳神経外科	1,312人	5人	1,337人	98.1%		
		放 射 線 科	1,304人	4人	1,594人	81.8%		
		泌 尿 器 科	262人	1人	251人	104.4%		
		小 計	35,719人	121人	34,238人	104.3%		
	合 計		56,036人		54,820人	102.2%		

区 分		患者数	1 日平均	前年度	前年度比 %	平均在院日数		病床利用率	
							前年度		前年度
入 院	一 般 病 棟	24,257人	66人	23,558人	103.0%	21.3日	20.3日	82.8%	80.7%
	回復期リハビリ テーション病棟	8,792人	24人	8,968人	98.0%	48.2日	54.7日	80.1%	81.9%
	療 養 病 棟	13,504人	37人	12,506人	108.0%	71.6日	55.1日	92.2%	85.7%
	合 計	46,553人	127人	45,032人	103.4%	28.7日	26.2日	84.8%	82.3%



< 定義 >

平均在院日数

年間在院患者のべ数

(年間新入院患者数 + 年間退院患者数) / 1/2

※除外患者を除かない全患者数

病床利用率

年間在院患者のべ数

病床数 × 365日

× 100%

区 分		患者数	1 日平均	前年度	前年度比	診 療 日 数	
							前年度
入院口腔ケア（歯科）		92人	8人	87人	105.7%	12日	12日

4.1.2 地域別患者数

地域 区 分			豊 田 市								みよし 市	その他	合 計	
			旧市内	藤 岡 地 区	小 原 地 区	下 山 地 区	旭 地 区	足 助 地 区	稲 武 地 区	小 計				
外 来	救急外来	内 科	9,093人	667人	136人	46人	49人	79人	6人	10,076人	563人	588人	11,227人	
		小 児 科	2,900人	228人	15人	20人	5人	22人	1人	3,191人	230人	157人	3,578人	
		外 科	3,904人	316人	67人	29人	30人	53人	5人	4,404人	302人	314人	5,020人	
		歯 科	363人	27人	2人	3人	6人	9人	0人	410人	32人	50人	492人	
		小 計	16,260人	1,238人	220人	98人	90人	163人	12人	18,081人	1,127人	1,109人	20,317人	
	一般・専門外来	総合診療科	6,187人	520人	96人	29人	49人	61人	9人	6,951人	285人	382人	7,618人	
		消化器内科	5,464人	387人	149人	41人	29人	130人	25人	6,225人	404人	557人	7,186人	
		循環器内科	3,568人	230人	71人	20人	20人	60人	2人	3,971人	215人	207人	4,393人	
		呼吸器内科	1,699人	135人	94人	6人	4人	47人	5人	1,990人	90人	158人	2,238人	
		神 経 内 科	1,289人	71人	54人	7人	13人	25人	0人	1,459人	25人	19人	1,503人	
		外 科	4,316人	285人	97人	71人	28人	71人	12人	4,880人	131人	339人	5,350人	
		整 形 外 科	3,847人	265人	32人	12人	22人	21人	0人	4,199人	217人	137人	4,553人	
		脳神経外科	1,070人	89人	36人	6人	1人	8人	3人	1,213人	58人	41人	1,312人	
		放 射 線 科	985人	54人	19人	2人	1人	11人	1人	1,073人	168人	63人	1,304人	
		泌 尿 器 科	204人	13人	2人	5人	0人	5人	4人	233人	3人	26人	262人	
		小 計	28,629人	2,049人	650人	199人	167人	439人	61人	32,194人	1,596人	1,929人	35,719人	
		合 計		44,889人	3,287人	870人	297人	257人	602人	73人	50,275人	2,723人	3,038人	56,036人
		構 成 比		80.1%	5.9%	1.6%	0.5%	0.5%	1.1%	0.1%	89.7%	4.9%	5.4%	100.0%
		前 年 度		43,781人	3,137人	787人	312人	292人	660人	61人	49,030人	2,736人	3,054人	54,820人
		前 年 度 比		102.5%	104.8%	110.5%	95.2%	88.0%	91.2%	119.7%	102.5%	99.5%	99.5%	102.2%

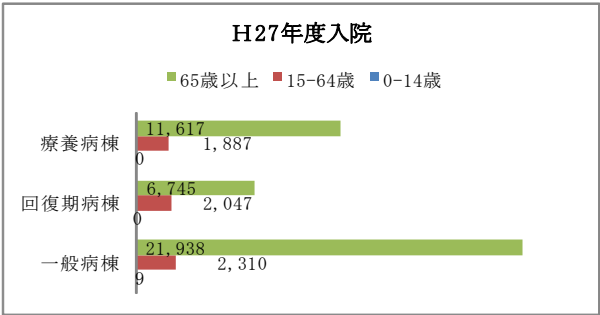
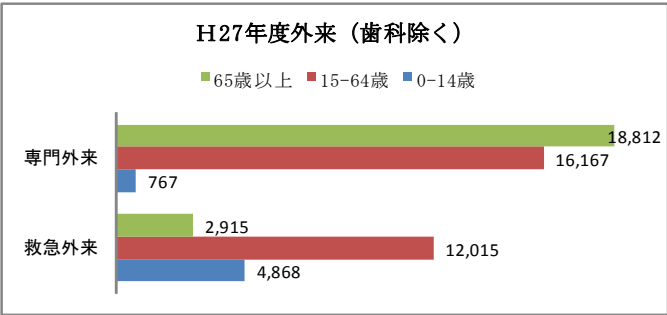
入 院	一 般 病 棟	20,719人	1,085人	887人	63人	0人	168人	21人	22,943人	468人	846人	24,257人
	回 復 期 リハビリテーション病棟	6,411人	1,113人	242人	0人	13人	0人	0人	7,779人	478人	535人	8,792人
	療 養 病 棟	12,657人	14人	99人	0人	42人	0人	0人	12,812人	74人	618人	13,504人
	合 計	39,787人	2,212人	1,228人	63人	55人	168人	21人	43,534人	1,020人	1,999人	46,553人
	構 成 比	85.5%	4.8%	2.6%	0.1%	0.1%	0.4%	0.0%	93.5%	2.2%	4.3%	100.0%
	前 年 度	37,464人	1,941人	1,757人	114人	422人	246人	251人	42,195人	1,158人	1,679人	45,032人
	前 年 度 比	106.2%	114.0%	69.9%	55.3%	13.0%	68.3%	8.4%	103.2%	88.1%	119.1%	103.4%

- ・外来は前年度と同様に、旧市内・藤岡地区・みよし市で全体の9割の患者数を占めている。
- ・入院は前年度と同様に、旧市内・藤岡地区・小原地区で全体の9割の患者数を占めている。

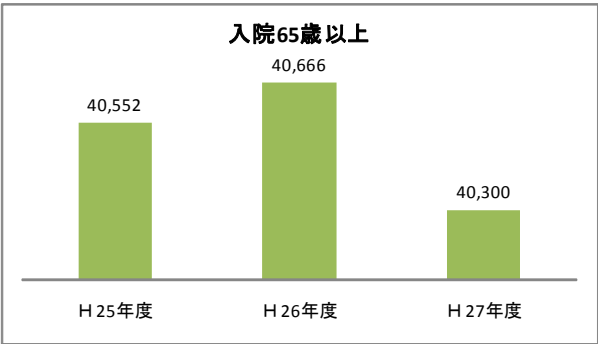
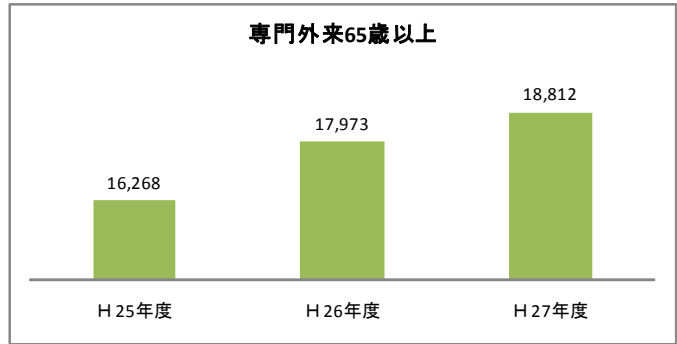
4.1.3 年齢構成別患者数

＜年齢構成別患者数＞

延べ数（人）		H27年度	H26年度	前年度比
外来 （歯科除く）	0-14歳	5,635人	5,698人	98.9%
	15-64歳	28,182人	27,900人	101.0%
	65歳以上	21,727人	20,709人	104.9%
入院	0-14歳	9人	10人	90.0%
	15-64歳	6,244人	4,356人	143.3%
	65歳以上	40,300人	40,666人	99.1%



＜65歳以上の推移＞



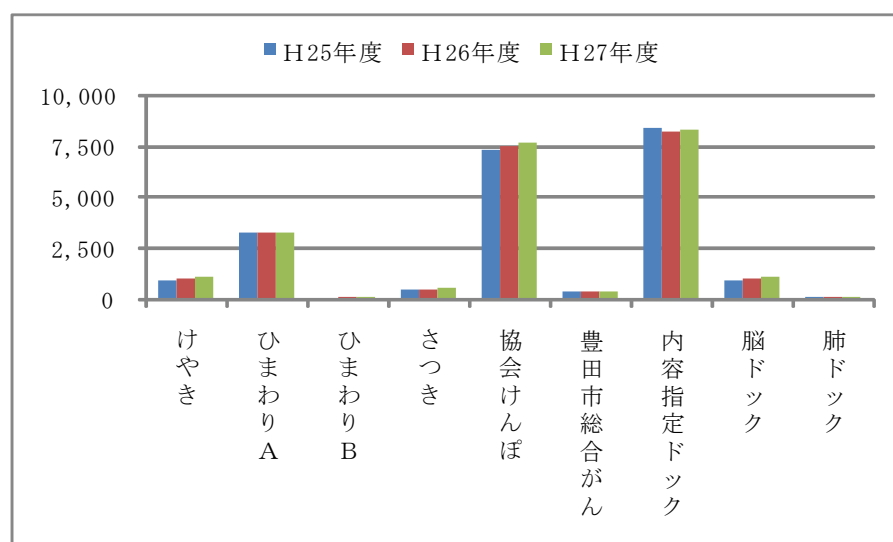
- ・ 外来の年齢別患者比率は、前年度と同様に0-14歳が1割、15-64歳が5割、65歳以上が4割であった。
- ・ 入院の年齢別患者比率は、前年度と同様の傾向で、65歳以上が約9割を占めている。

4.2 健診実績

4.2.1 総合健診（人間ドック）受診者数

区分		H27年度	H26年度	前年度比
コース別	けやき	1,159人	1,047人	110.7%
	ひまわりA	3,323人	3,352人	99.1%
	ひまわりB	177人	150人	118.0%
	さつき	614人	524人	117.2%
	協会けんぽ	7,780人	7,602人	102.3%
	豊田市総合がん	441人	471人	93.6%
	内容指定ドック	8,416人	8,279人	101.7%
	脳ドック	1,170人	1,060人	110.4%
	肺ドック	189人	179人	105.6%
年代別	29歳以下	816人	790人	103.3%
	30歳代	4,292人	4,314人	99.5%
	40歳代	7,284人	7,081人	102.9%
	50歳代	7,012人	6,848人	102.4%
	60歳代	3,328人	3,169人	105.0%
	70歳以上	537人	462人	116.2%
合計	受診者数	23,269人	22,664人	102.7%
	健診日数	292人	293人	99.7%
	1日当り受診者数	79.7人	77.4人	103.0%

検査別精密検査率	
内科診察	0.17%
眼圧・眼底	2.02%
肺機能	0.76%
血圧	1.67%
心電図	2.17%
胸部X線	0.24%
胃部X線	4.34%
その他の消化管	8.61%
脂質	3.85%
肝機能	3.57%
膵機能	0.21%
尿酸	1.92%
血清	0.47%
糖尿病	1.48%
血液一般	2.09%
腎機能	0.62%
電解質	0.42%
尿一般	0.86%
便潜血	0.49%
腹部超音波	0.88%
腹部CT	11.11%
腫瘍マーカー	1.11%
前立腺	2.52%
子宮がん	1.49%
婦人科内診	4.46%
乳がん	3.15%
肺がん	0.08%
骨密度	0.52%
総合判定	23.25%



※ ＜受診者の動向＞

- ・ 当センターは、豊田市で唯一の日本脳ドック学会認定施設であり、年々脳ドックの受診者が、増加しています。
- ・ 年代別にみると、高齢者（60歳以上）の受診者が、増加しています。

4.2.2 総合健診（人間ドック）地域別受診者数

地域	豊田市								みよし市	その他	合計
	旧市内	藤岡地区	小原地区	下山地区	旭地区	足助地区	稲武地区	小計			
当年度	14,520人	1,180人	270人	248人	184人	466人	110人	16,978人	1,298人	4,993人	23,269人
構成比	62.4%	5.1%	1.2%	1.1%	0.8%	2.0%	0.5%	73.0%	5.6%	21.5%	100.0%
前年度	14,765人	862人	205人	159人	151人	387人	98人	16,627人	1,287人	4,750人	22,664人
前年度比	98.3%	136.9%	131.7%	156.0%	121.9%	120.4%	112.2%	102.1%	100.9%	105.1%	102.7%

4.2.3 他の健診受診者数

< 特定健診関係 >

健診の種類		H27年度	H26年度	前年度比
豊田市健康診査	特定健診	5,984人	6,061人	98.7%
	後期高齢者健診	1,560人	1,317人	118.5%
社会保険等特定健診		716人	681人	105.1%
生き生き健診		71人	73人	97.3%
合計		8,331人	8,132人	102.4%

< 保健指導関係 >

区分			H27年度	H26年度	前年度比%
特定保健指導	積極的支援	初回面接	37人	25人	148.0%
		実績評価	27人	19人	142.1%
	動機付け支援	初回面接	38人	23人	165.2%
		実績評価	19人	28人	67.9%
	一般保健指導			351人	358人
合計			472人	453人	104.2%

< 豊田市がん検診・肝炎検診 >

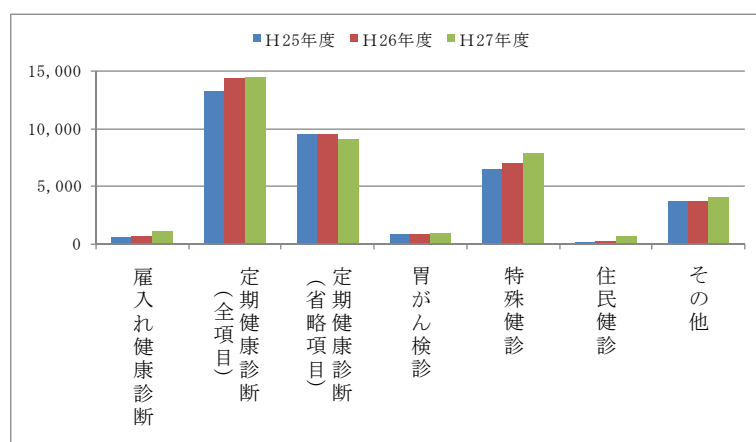
区分	H27年度	H26年度	前年度比%
胃がん検診	6,437人	6,361人	101.2%
大腸がん検診	8,052人	7,701人	104.6%
肺がん検診	6,177人	5,981人	103.3%
子宮がん検診	2,143人	2,247人	95.4%
乳がん検診	3,034人	3,424人	88.6%
前立腺がん検診	1,846人	1,898人	97.3%
肝炎検診	823人	751人	109.6%
合計	28,512人	28,363人	100.5%

< その他の健診 >

健診の種類	H27年度	H26年度	前年度比%
高齢者健診	338人	412人	82.0%
レディース検診	196人	193人	101.6%
骨粗しょう症健診	143人	186人	76.9%
簡易健診	969人	773人	125.4%
合計	1,646人	1,564人	105.2%

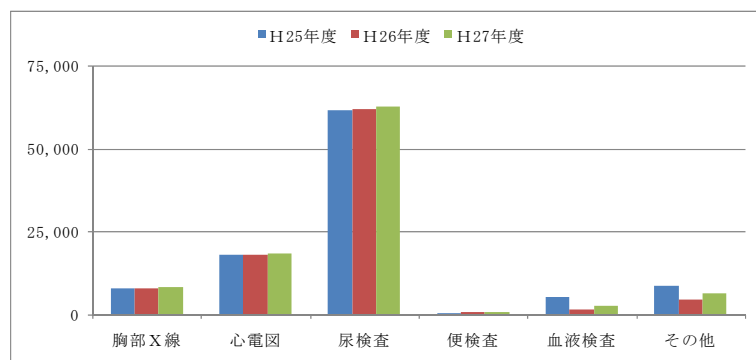
4.2.4 集団検診受診者数

区分		H27年度	H26年度	前年度比
事業所健診	雇入れ健康診断	1,077人	713人	151.1%
	定期健康診断（全項目）	14,452人	14,364人	100.6%
	定期健康診断（省略項目）	9,160人	9,601人	95.4%
	胃がん検診	853人	817人	104.4%
	特殊健診	7,862人	7,025人	111.9%
住民健診		672人	177人	379.7%
その他		4,060人	3,761人	108.0%
合計		38,136人	36,458人	104.6%



4.2.5 学校健診

区分	H27年度	H26年度	前年度比
胸部X線	8,447人	7,918人	106.7%
心電図	18,543人	18,084人	102.5%
尿検査	62,837人	62,368人	100.8%
便検査	640人	578人	110.7%
血液検査	2,575人	1,576人	163.4%
その他	6,534人	4,520人	144.6%
合計	99,576人	95,044人	104.8%



4.3 地域医療連携実績

4.3.1 紹介患者実績

区分		年度	H27年度	H26年度	前年度比
紹介	患者数		3,669人	3,937人	93.2%
	率		50.4%	55.7%	90.5%
逆紹介	患者数		4,610人	4,565人	101.0%
	率		58.5%	60.7%	96.4%

(内訳)

区分		年度	H27年度	H26年度	前年度比
外来紹介患者数			846人	830人	101.9%
入院紹介患者数	一般病棟		568人	603人	94.2%
	回復期病棟		170人	154人	110.4%
	療養病棟		4人	11人	36.4%
	小計		742人	768人	96.6%
検査紹介患者数	MRI	頭部	302人	429人	70.4%
		躯幹	535人	577人	92.7%
		四肢	84人	124人	67.7%
	CT	頭部	110人	104人	105.8%
		躯幹	488人	523人	93.3%
		四肢	14人	6人	233.3%
	内視鏡	上部	310人	292人	106.2%
		下部	108人	104人	103.8%
	X線透視	胃部	1人	0人	0.0%
		大腸	1人	2人	50.0%
	超音波	腹部	80人	105人	76.2%
		心臓	17人	25人	68.0%
		その他	20人	35人	57.1%
	その他		11人	13人	84.6%
	小計		2,081人	2,339人	89.0%
合計			3,669人	3,937人	93.2%

※外来紹介患者が入院した場合は入院紹介患者に計上

※式 $\frac{\text{紹介患者数} + \text{救急入院患者数}}{\text{初診患者数}}$

区分		年度	H27年度	H26年度	前年度比
逆紹介患者数			2,524人	2,313人	109.1%

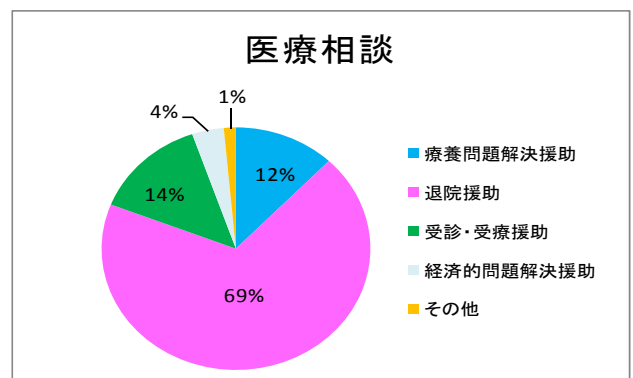
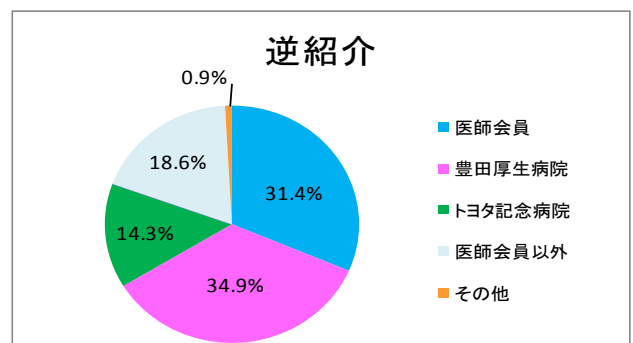
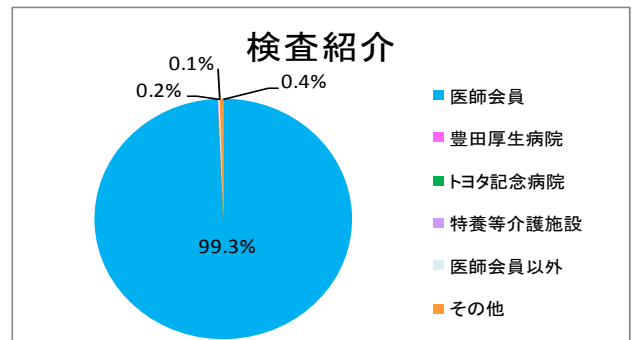
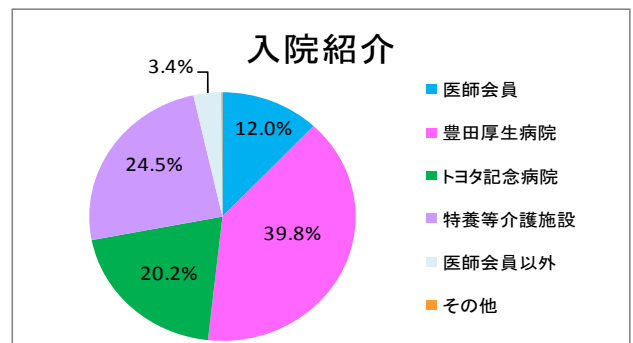
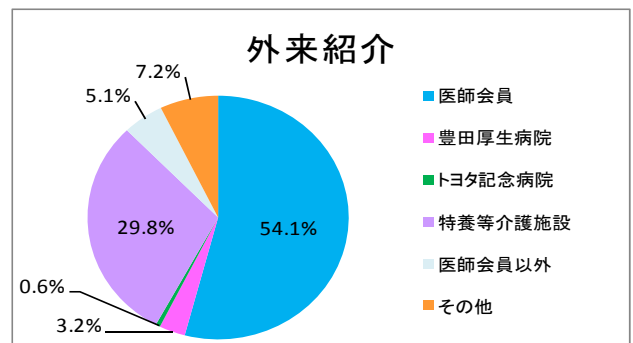
※検査紹介時の逆紹介（Iターン）を除く

※式 $\frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}}$

4.3.2 医療相談実績

区分		年度	H27年度	H26年度	前年度比
医療相談件数			4,571	3,959	115.5%

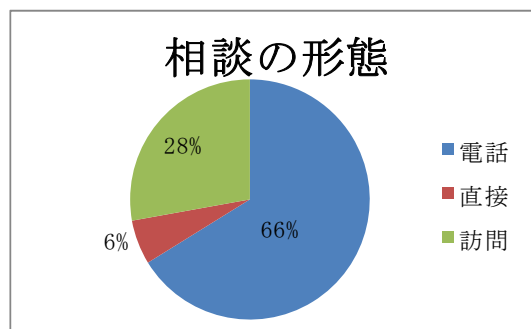
主だった相談は退院援助で69%を占めた。近隣の急性期病院からの転院や特養等介護施設からの受入れも多く、病状や身体状態、家族事情や経済状況などを鑑み、適切な療養環境が提供されるよう相談援助を行った。



4. 4 在宅実績

4. 4. 1 地域包括支援実績

区分 \ 年度	H27年度	H26年度	前年度比
介護予防支援	1,135件	882件	128.7%
相談件数	2,775件	3,082件	90.0%
高齢者見守り協力機関訪問	56件	97件	57.7%
家族介護交流事業	5回	13回	38.5%
介護予防教室	4回	6回	66.7%
認知症サポーター養成講座	2回	2回	100.0%



4. 4. 2 居宅介護支援実績

区分 \ 年度	H27年度	H26年度	前年度比
要支援1	3人	17人	17.6%
要支援2	10人	5人	200.0%
要介護1	260人	311人	83.6%
要介護2	286人	307人	93.2%
要介護3	126人	151人	83.4%
要介護4	75人	76人	98.7%
要介護5	78人	82人	95.1%
合計	838人	949人	88.3%

区分 \ 年度	H27年度	H26年度	前年度比
契約者数	905人	1,023人	88.5%
新契約者数	36人	55人	65.5%
相談受付	57人	70人	81.4%

4. 4. 3 訪問看護実績

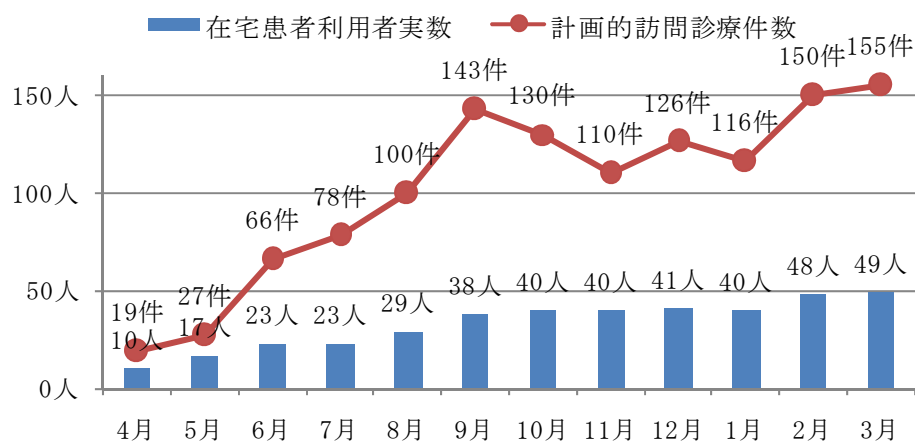
区分 \ 年度	H27年度	H26年度	前年度比
利用者実数	1,703人	1,402人	121.5%
24時間緊急対応（予定外）	出勤 435人	401人	151.9%
	電話 174人		
新規利用者数	130人	109人	119.3%
終了者数(死亡を含む)	99人	76人	130.3%
入所・入院者数	211人	170人	124.1%
在宅看取り件数	39人	22人	177.3%

区分 \ 年度	H27年度	H26年度	前年度比
訪問看護	介護保険 5,221件	4,822件	108.3%
	医療保険 2,535件	1,723件	147.1%
	小計 7,756件	6,545件	118.5%
訪問リハビリ	介護保険 1,068件	569件	187.7%
	医療保険 698件	223件	313.0%
	小計 1,766件	792件	223.0%
合計	9,522件	7,337件	129.8%

4.4.4 訪問診療実績

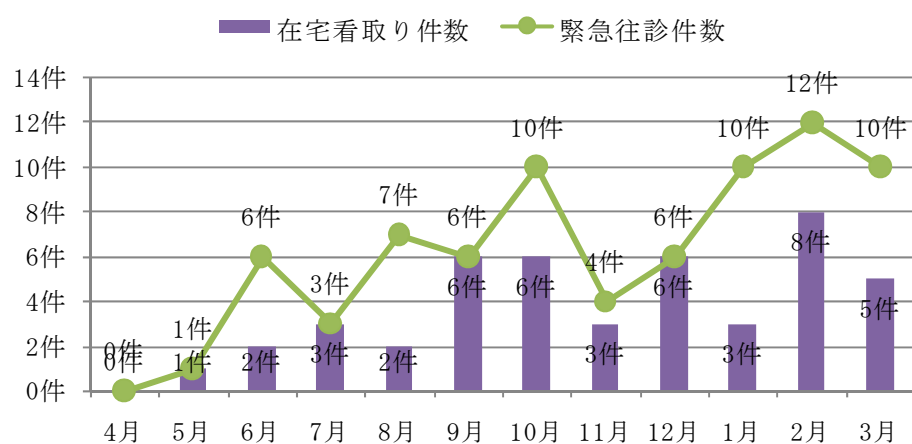
区分 \ 年度	H27年度	H26年度	前年度比
訪問診療件数	1,220件	183件	666.7%

利用者実数と訪問診療件数



訪問件数 : 年間 1,220 件

緊急往診と看取り件数



緊急往診 : 年間 75 件

在宅看取 : 年間 45 件

4.5 部門実績

4.5.1 医療安全管理部門

<職種別アクシデント・インシデント件数>

職種	アクシデント件数		インシデント件数	
	H27 年度	H26 年度	H27 年度	H26 年度
医師	0 件	1 件	1 件	4 件
看護師	0 件	3 件	563 件	600 件
薬剤師	0 件	0 件	29 件	8 件
技師等	0 件	0 件	292 件	86 件
事務職員	0 件	0 件	1 件	2 件
その他	0 件	0 件	0 件	0 件

<内容別アクシデント・インシデント件数>

内容	アクシデント件数		インシデント件数	
	H27 年度	H26 年度	H27 年度	H26 年度
薬剤	0 件	0 件	257 件	290 件
輸血	0 件	0 件	0 件	0 件
治療・処置	0 件	0 件	8 件	10 件
医療機器等	0 件	0 件	10 件	5 件
ドレーン	0 件	0 件	91 件	81 件
検査	0 件	0 件	60 件	40 件
治療上の世話	0 件	4 件	357 件	173 件
その他	0 件	0 件	103 件	85 件

<内容別アクシデント・インシデント発生比率>

内容比率 (%)	H27 年度	H26 年度	※日本医療機能評価
薬剤	36.7%	41.8%	30.0%
輸血	0.0%	0.0%	0.4%
治療・処置	1.1%	1.4%	5.5%
医療機器等	1.4%	0.7%	3.2%
ドレーン	13.0%	11.6%	10.1%
検査	8.6%	5.7%	8.8%
治療上の世話	33.0%	26.8%	25.0%
その他	6.2%	12.0%	17.0%

※日本医療機能評価

平成 25 年度病床規模別発生件数報告（病床数が 100～199 床の医療機関）における発生比率

4.5.2 感染管理部門

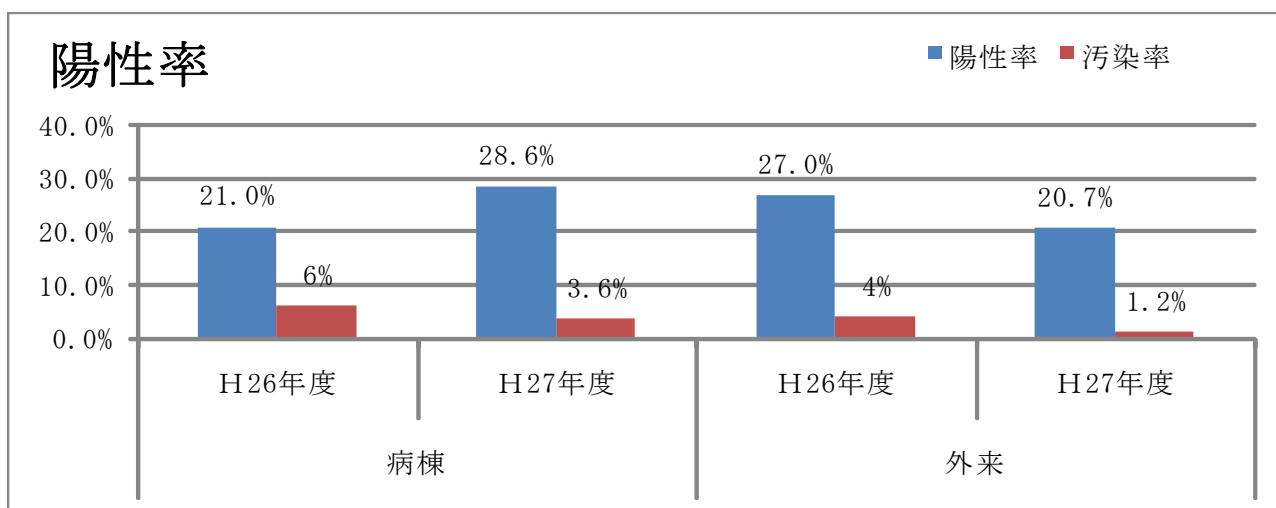
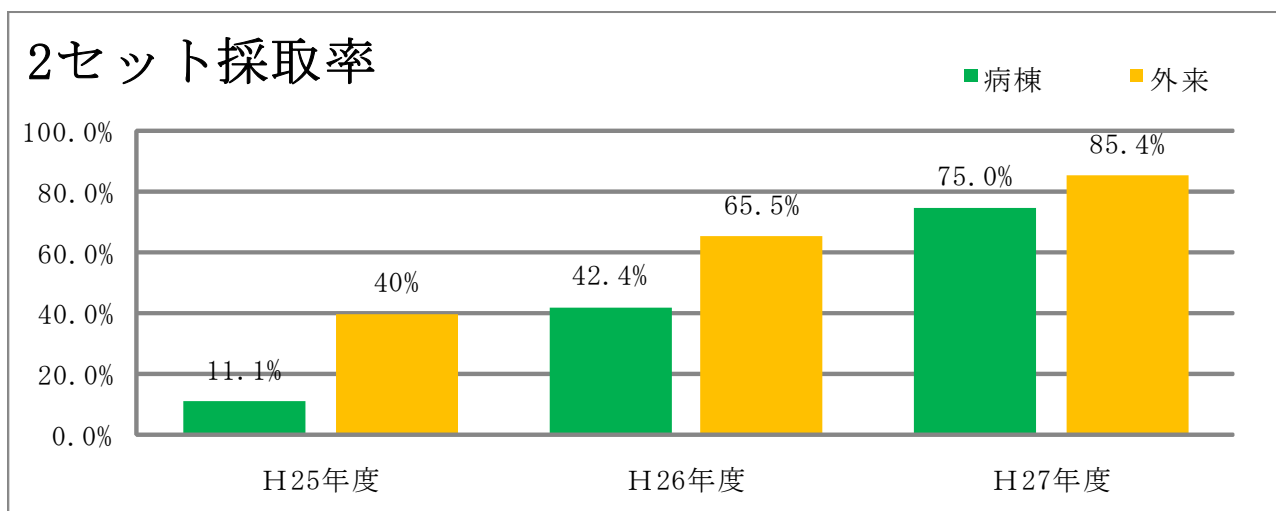
＜薬剤耐性菌サーベイランスの発生件数＞

内容	H27年度	H26年度	H25年度
メチシリン耐性菌黄色ブドウ球菌（MRSA）	38件	45件	48件
バンコマイシン耐性陽球菌（VRE）	0件	0件	0件
多剤耐性緑膿菌（MDRP）	0件	0件	0件
ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）	0件	0件	0件
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）	0件	0件	0件
多剤耐性アシネトバクタ属（MDRA）	0件	0件	0件
基質特異性拡張型βラクタマーゼ（ESBLs）	23件	11件	7件
βラクタマーゼ陰性ABCP耐性インフルエンザ菌（BLNAR）	1件	1件	4件
メタロβラクタマーゼ産生菌	0件	0件	0件
カルバペネム耐性腸内細菌（CRE）	0件	1件	0件
その他	0件	0件	0件

・厚生労働省サーベイランス事業（全入院部門・検査部門）に参加。

＜血液培養検査状況＞

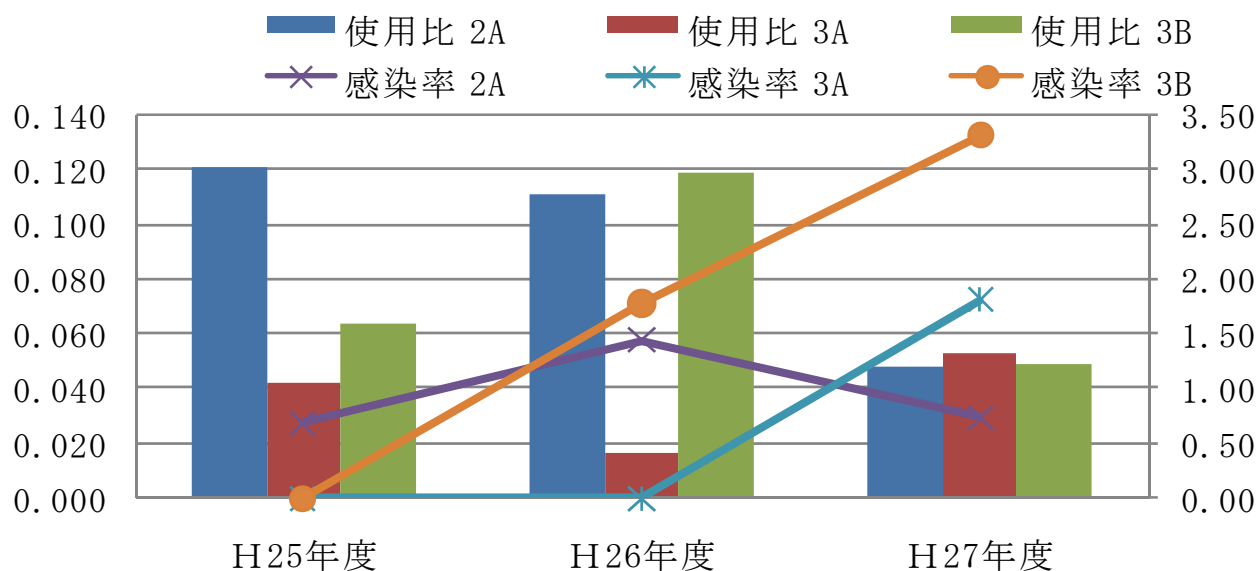
- ・血液培養検査の2セット採取を推奨している。
- ・2セット採取の増加に伴い、陽性率も上がっている。



< 中心ライン使用率と感染率の年度比較 >

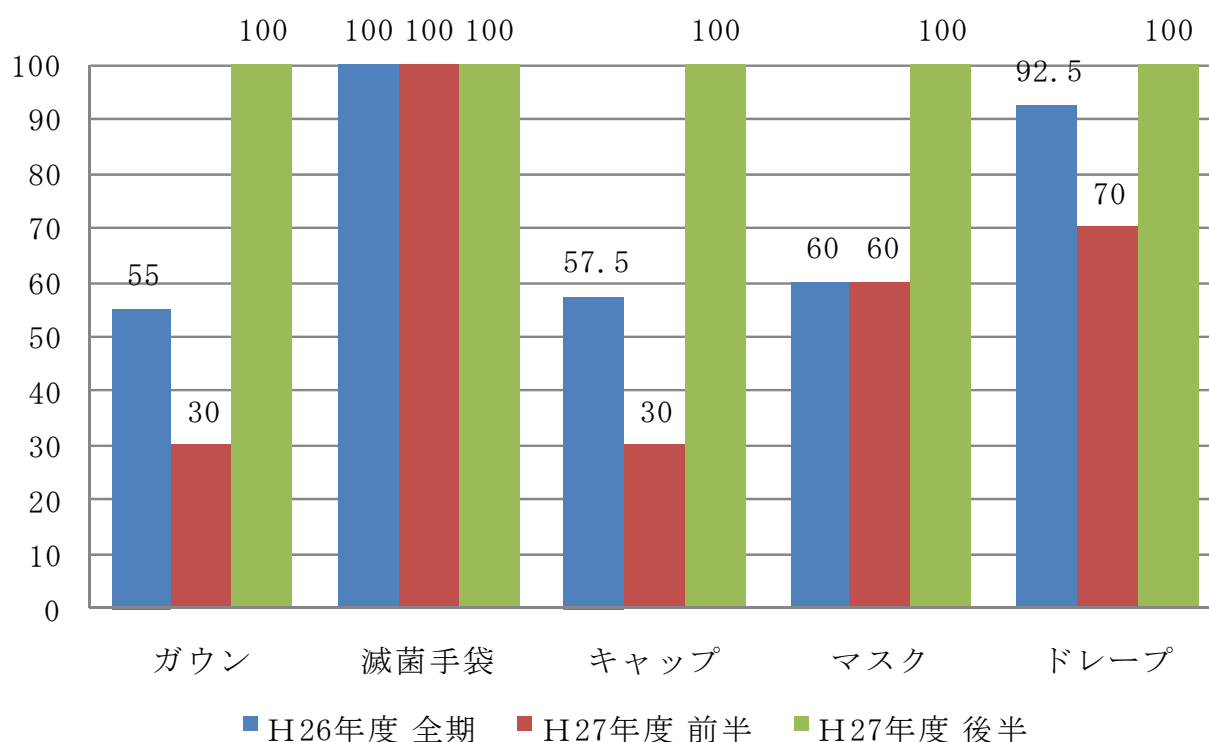
内容	H27年度	H26年度	H25年度
中心ライン関連血流感染	4件	2件	1件

中心ライン使用比と感染率（年度平均の比較）



・平成25年・26年度は使用比に比例して感染率も高くなっていたが、平成27年度は使用比が低い病棟に於いても感染率が高くなった。原因の一つは、ライン挿入時に推奨されているマキシマルバリアプレコーションが遵守されないことによるものと考えた。マキシマルバリアプレコーションの遵守については他施設からの指摘を受け現在は遵守されており、挿入直後の感染は発生していない。

マキシマルバリアプレコーション遵守状況



4.5.3 診療部門

＜主な入院指導・管理件数＞

内容	H27 年度	H26 年度
救急医療管理加算	1,643 件	1,900 件
在宅患者緊急入院診療加算	4 件	5 件
難病患者等入院診療加算	875 件	590 件
退院調整加算 1（一般病棟）	120 件	76 件
退院調整加算 2（療養病棟）	14 件	4 件
退院時共同指導料	40 件	2 件
地域連携診療計画退院時指導料	103 件	103 件

＜主な外来指導・管理件数＞

内容	H27 年度	H26 年度
特定疾患療養管理料	7,967 件	7,647 件
難病外来指導管理料	348 件	347 件
夜間休日救急搬送医学管理料	434 件	338 件

＜時間外・救急件数＞

内容	H27 年度	H26 年度
救急車搬入数	1,122 件	853 件
救急車転送患者数	177 件	146 件
時間外・救急入院患者数	238 件	213 件

＜特別療養老人ホーム等施設からの患者受入件数＞

内容	H27 年度	H26 年度
入院治療（施設→入院）	186 件	191 件
外来治療（施設→外来→施設）	155 件	172 件
高度医療機関転送（施設→外来→転送）	27 件	27 件

＜栄養指導件数＞

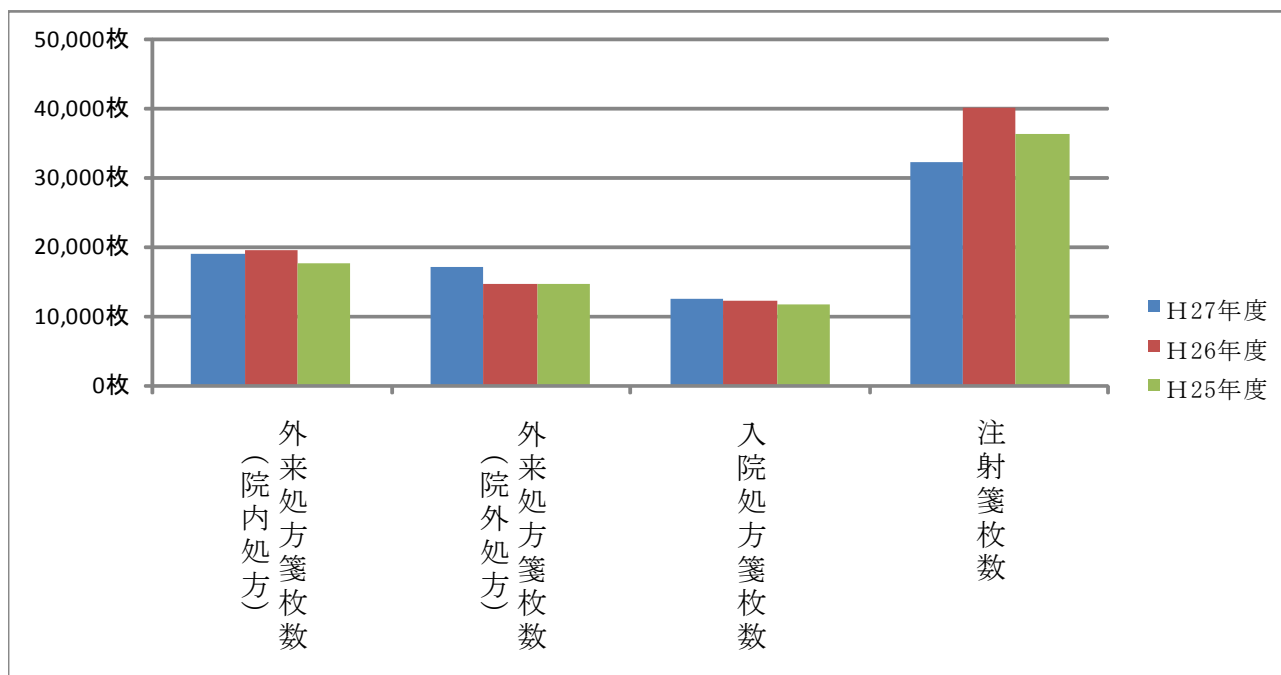
内容	H27 年度	H26 年度
外来栄養食事指導実施件数	598 件	396 件
入院栄養食事指導実施件数	128 件	159 件

※件数は、算定件数でなく実施件数です。

4.5.4 薬剤部門

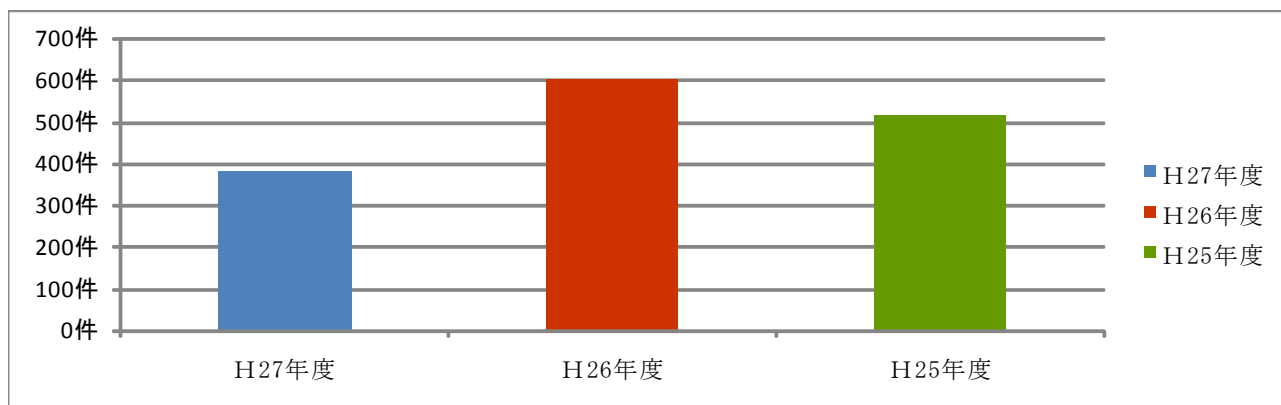
＜処方箋件数＞

処方箋枚数	H27年度	H26年度	H25年度
外来処方箋枚数（院内処方）	18,927枚	19,551枚	17,547枚
外来処方箋枚数（院外処方）	16,921枚	14,693枚	14,520枚
入院処方箋枚数	12,431枚	12,086枚	11,502枚
注射箋枚数	32,162枚	40,120枚	36,231枚



＜薬剤指導管理件数＞

薬剤管理指導件数	H27年度	H26年度	H25年度
薬剤管理指導料 退院時薬剤情報管理指導料	382件	602件	517件



・経年比較をすると当院の傾向は高齢者の末梢看取り入院患者が増加し薬物治療が減少傾向にあり、服薬指導が減少している。

4.5.5 診療放射線部門

<撮影件数>

件 数		H27年度	H26年度	H25年度
一般撮影		64,249件	63,249件	61,811件
X線TV	注腸	33件	41件	85件
	UGI	26,301件	25,615件	25,418件
	その他	103件	149件	155件
乳房X線撮影		5,775件	5,719件	5,685件
CT検査	頭部	1,217件	1,051件	980件
	躯幹	3,209件	3,078件	2,761件
	四肢	31件	25件	23件
MRI検査	頭部	2,004件	2,062件	1,880件
	躯幹	575件	626件	563件
	四肢	117件	153件	116件
骨密度検査		3,247件	3,251件	3,095件
パノラマ撮影（歯科）		3件	1件	9件

4.5.6 臨床検査部門

<検査件数（検体・細菌・病理）>

検査項目	H27年度	H26年度	H25年度
生化・免疫検査	68,456件	64,866件	65,872件
血液検査	59,733件	56,042件	58,026件
一般検査	125,451件	123,163件	121,420件
微生物検査	1,852件	1,501件	1,437件
病理・細胞診検査	11,615件	11,430件	11,499件
循環機能検査	69,620件	68,182件	67,053件
呼吸機能検査	10,961件	10,909件	10,921件
超音波検査	18,364件	17,643件	17,264件

4.5.7 手術部門

＜手術件数＞

領 域	内 容	H27年度		H26年度
胃	胃全摘術	2件	5件	6件
	胃切除術	3件		
肝胆膵	腹腔鏡下胆嚢摘出術	7件	7件	14件
	開腹胆嚢摘出術	0件		
	開腹総胆管切開載石摘出術	0件		
大腸	結腸切除術	2件	22件	38件
	直腸切除術	3件		
	ヘルニア根治術	17件		
	小腸部分切除	0件		
	腸管癒着症手術	0件		
虫垂	虫垂切除術	2件	2件	0件
その他消化管	腹膜炎手術	1件	1件	2件
	試験開腹	0件		
骨折	観血的整復固定術	6件	16件	24件
	抜釘術	10件		
腱	腱鞘切開術	0件	0件	2件
その他	中心静脈カテーテル埋め込みポート	4件	7件	11件
	皮下腫瘍摘出術	3件		
	陥入爪手術（複雑なもの）	0件		
	人工肛門造設術	0件		
合 計		60件		97件

4.5.8 リハビリテーション部門

<リハビリテーション件数>

(1) 診療種別

単位数		H27年度	H26年度	H25年度
脳血管	理学療法	18,474単位	18,777単位	25,832単位
	作業療法	14,957単位	15,533単位	19,458単位
	言語療法	13,071単位	12,993単位	14,588単位
	小計	46,502単位	47,303単位	59,878単位
運動器 I	理学療法	24,240単位	25,395単位	17,379単位
	作業療法	17,445単位	16,372単位	10,547単位
	小計	41,685単位	41,767単位	27,926単位
呼吸器	理学療法	700単位	184単位	179単位
	作業療法	473単位	0単位	42単位
	小計	1,173単位	184単位	221単位
摂食嚥下	言語療法	1,645単位	1,482単位	467単位
物忘れ	作業療法	640単位	592単位	552単位
総合計単位数		91,645単位	91,328単位	89,044単位
早期加算	理学療法	5,657単位	5,846単位	4,930単位
	作業療法	4,524単位	3,986単位	2,780単位
	言語療法	677単位	787単位	1,223単位
	小計	10,858単位	10,619単位	8,933単位

(2) 部門別

単位数		H27年度	H26年度	H25年度
理学療法		43,414単位	44,356単位	43,390単位
作業療法		33,515単位	32,497単位	30,599単位
言語療法		14,716単位	14,475単位	15,055単位
総合計単位数		91,645単位	91,328単位	89,044単位

(3) 入院・外来別総合単位数

単位数		H27年度	H26年度	H25年度
入院	入院単位数	89,667単位	89,042単位	88,459単位
外来	外来単位数	1,978単位	2,286単位	585単位
総合計単位数		91,645単位	91,328単位	89,044単位

リハビリテーション科の総実施単位数は増加している。

平成26年度から外来リハビリテーションを開始している。

入院リハビリについては、回復期リハビリテーション病棟の患者様を中心に実施している。

回復期リハビリテーション病棟の患者様は、平均約6.5単位/日実施している。

回復期病棟の在宅復帰率は、91%と高い割合で在宅復帰されている。

外科の術後の患者様についても、主治医の指示のもと、術直後からリハビリテーションを実施している。

5 委員会状況

5.1 委員会一覧

- 医事紛争処理委員会
- 倫理委員会
- 臨床研修委員会
- 医療安全管理委員会
- 院内感染対策委員会
- 診療実務委員会
- 健診運営委員会
- サービス向上委員会
- IT 委員会
- 診療報酬委員会
- 内視鏡室運営委員会
- 栄養管理委員会
- N S T 委員会
- 褥瘡防止対策委員会
- 薬事材料委員会
- 臨床検査適正化・輸血療法委員会
- 入退院判定会
- 医療ガス安全管理委員会
- 災害対策委員会
- 広報委員会
- 衛生委員会

5.2 主な委員会の活動報告

5.2.1 医療安全管理委員会

1) 委員会目的

当院における医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、適切に医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資することを目的とする。委員会は毎月第4木曜日（平成26年6月までは毎月第4水曜日）に開催する。

2) 会議内容

- ・インシデント事故報告、セーフティマネジメント部会、事故防止のための対策・改善、研修会計画、医療過誤情報等の定例内容をはじめ医療安全に関する内容

3) 主な活動内容

開催日	研修名	参加者
H27/ 4/ 2	新採用者医療安全管理オリエンテーション	新規採用者【20名】
H27/ 5/18	医療安全管理研修 看護部介護員	【介護職員17名】
H27/ 7/17	看護部看護補助員医療安全管理研修	【補助職員10名】
H27/ 9/30	『事故調査制度の導入について』～医療安全管路全体研修会～	医療安全メンバー 【全職員80名】
H27/ 9/30	医薬品安全管理研修会	医療安全メンバー 【全職員80名】
H28/ 3/ 5	院内安全フォーラム	医療安全メンバー 【全職員166名】

●セーフティマネジメント部会WGより

①月別インシデントアクシデント発生件数推移（単位：件）

■説明

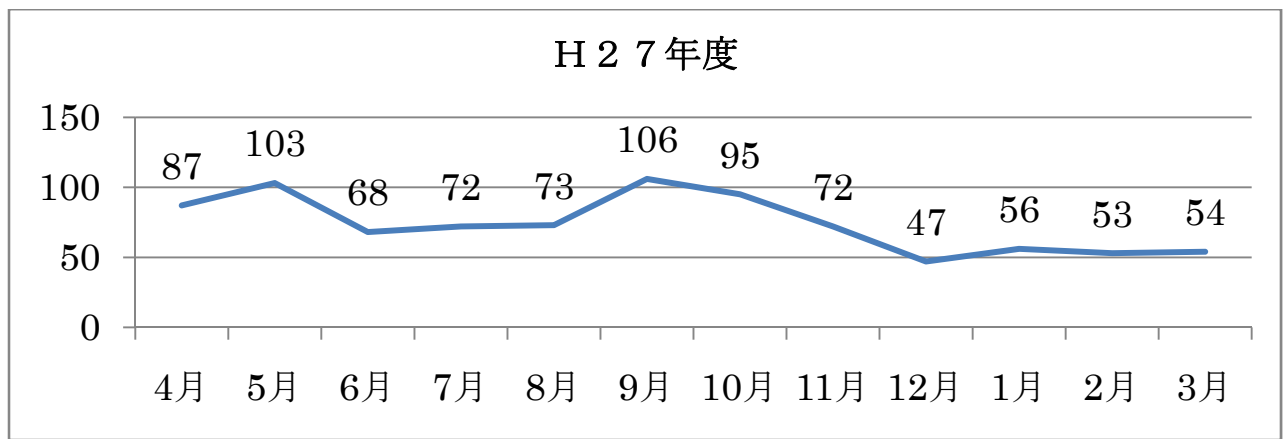
医療安全管理委員会はインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数を毎月報告をしてその推移を調査しております。この指標は、一般社団法人日本病院会「2013 医療安全に係わる報告書」で比較ができます。

■定義

インシデントアクシデント各月の発生件数

■比較指標

一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書より病床規模別、100床あたりのヒヤリ・ハット件数では、いずれの病床規模別においても 37.6～42.5 件



②転棟転落 発生率 (単位:‰)

■説明

病院に入院したにもかかわらず、ベッド周辺、歩行途中、トイレに行く戻りなど思わぬところで転倒 転落があります。医療安全管理委員会にインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数をもとに、入院患者さん全体より転倒転落の報告がされた発生率を求めています。この指標は、一般社団法人日本病院会 2014 医療安全に係わる報告書で比較ができます。

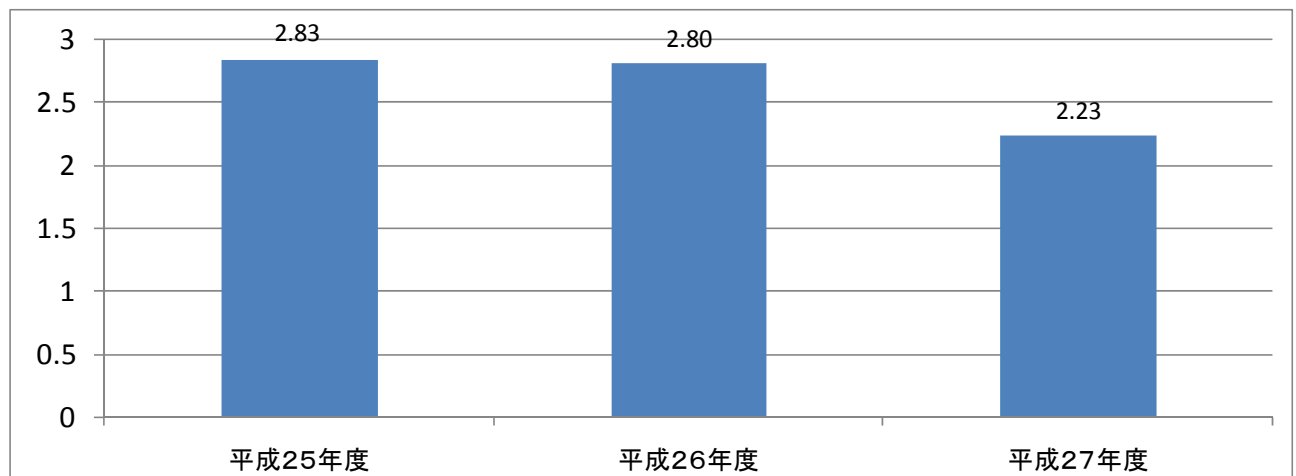
■定義

転倒・転落件数／入院患者延数

■比較指標

一般社団法人日本病院会 QI プロジェクト参加病院 2014 データー

転倒転落発生率の 1 年間の平均は、平均値 2.81‰ (中央値 2.36‰)



5.2.2 院内感染対策委員会・ICT 委員会

<院内感染対策委員会・ICT 委員会>

1) 委員会目的

○院内感染対策委員会：エイズ、MRSA、B 型肝炎及び結核などの院内感染予防対策を推進することを目的として毎月第 2 火曜日に開催する。

○ICT 委員会：院内感染防止のための調査・研究及び対策の確立に関し、迅速かつ機動的に活動することを目的として毎月第 1 火曜日に開催する。

2) 活動内容

(院内感染対策委員会)

定期開催 12 回開催。主に「感染症情報報告」「抗菌薬情報」「ICT 委員会報告」を行った。

平成 27 年度は訪問看護科の利用者が結核発症が否定できない状況下で訪問看護をするにあたり、職員の健康管理を優先し、T-SPOT 検査を実施したことを発端に職員の T-SPOT 検査及び流行性ウイルス疾患の抗体検査について審議し、年度内 2 月、3 月に実施となった。

(ICT 委員会)

＊感染防止対策加算＊

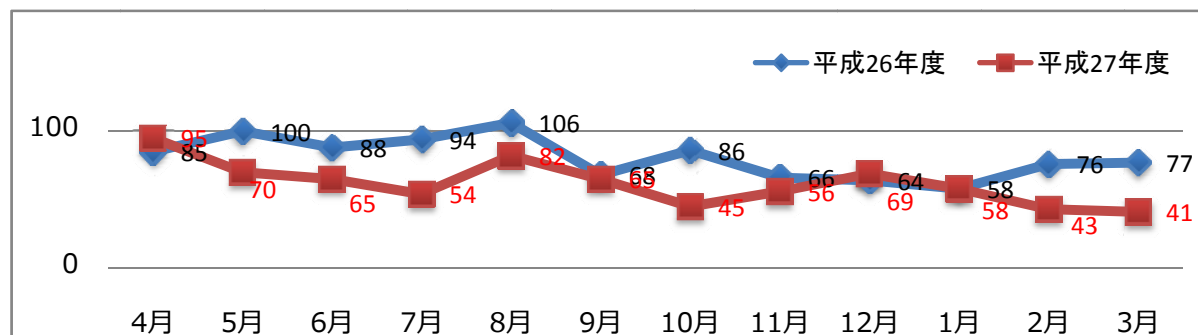
○平成 25 年 1 月に中野胃腸科病院、北斗病院と連携し、感染防止対策加算 1 を申請し活動を開始 2 年が経過した。当院主催の合同カンファレンス（年 4 回）及び相互評価（平成 27 年度はトヨタ記念病院による当院の院内ラウンド評価、豊田厚生病院にて当院による院内ラウンド評価）を継続。

○相互評価ラウンドの実施

日程	実施病院	評価病院
H 27/ 9/30	豊田地域医療センター	トヨタ記念病院
H 28/ 1/15	豊田厚生病院	豊田地域医療センター

○抗菌薬症例カンファレンス

<症例件数>



平成 26 年度症例数：968 件 平成 27 年度：743 件

<介入症例>

平成 26 年度 3 件、平成 27 年度 6 件 ↑

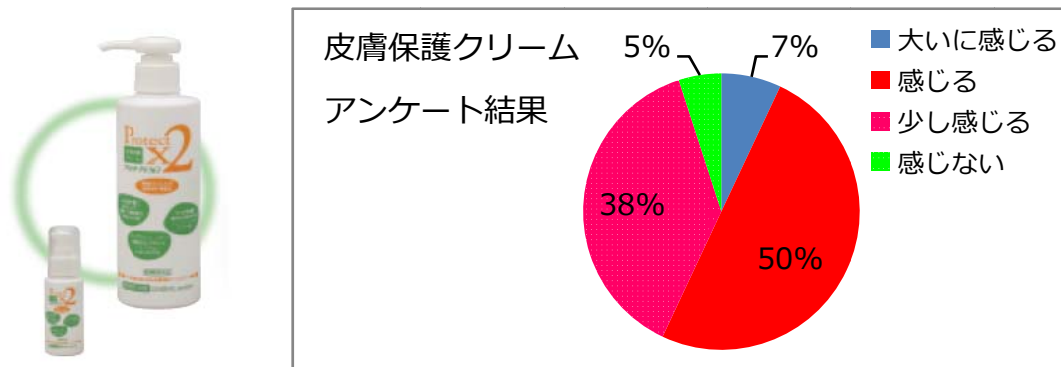
○ICT ラウンド（チェックリストをもとに実施→指導→評価）

- ・環境ラウンド 15 回（薬剤部、検査科、リハビリテーション科、訪問看護科、放射線科）
- ・病棟ラウンド 10 回（外来、病棟、内視鏡室）

- ・ ICT ラウンド 16 回
- ・ 廃棄物ラウンド 2 回

* ICT 委員会活動 *

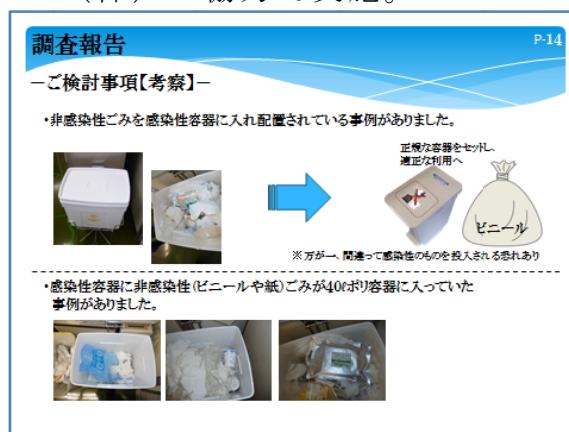
○リンクナースとの協働で「皮膚保護クリームの使用による検証から手指衛生の遵守率の向上を考える」をテーマに検証し、平成 27 年 2 月 20 日、第 30 回日本環境感染学会ポスター展示部門で発表した。その後、平成 27 年度再度、皮膚保護クリームのアンケートを実施し、看護部以外の部署への導入をした。



○医療安全フォーラムに参加。「手指衛生」「N-95 マスクのフィットテスト」「ユニセフ募金活動」を行った。



○感染性廃棄物の現状調査を日本シュウター（株）の協力で実施。



5.2.3 健診運営委員会

1) 委員会目的

院内及び院外の健診事業の運営調整に関することを目的として、毎月最終金曜日に開催する。

2) 会議内容

院内部会、院外部会、健診部会、高齢者健診検討部会、各科（課）から提出されてきた議題に対し、委員会で検討を行い、その結果を各部会および各科（課）にフィードバックし、健診基本方針に沿った健診事業が実施できるようにする

開催日	会議内容
H27/ 4/24	・健診基本方針の内容確認について ・健診運営委員会要綱の内容確認について ・ペプシノゲン、ヘリコバクターピロリ抗体価検査の判定について ・みよし市住民健診入札結果について ・岡崎医療刑務所の受刑者の健診について（見積入札） ・平成27年度人間ドックにおける健保・事業所取扱い変更点
H27/ 5/29	・健診コース・オプション検査を見直すための、検討部会の設置について ・名古屋刑務所健康診断の入札について ・名古屋矯正管区採用時二次試験の胸部X線検査見積の提出について ・近畿健康管理センターからの健診システム視察依頼について
H27/ 6/26	・みよし市住民健診結果報告書について ・名古屋刑務所健康診断の入札結果について ・ドック・定健診察医師の変更について
H27/ 7/31	・9月からの健診医師の確保について ・健診部会からの報告
H27/ 8/28	・ドックコース内胃カメラ検査時間枠の変更について ドックコース内胃カメラ枠の時間を早めることで、受診者の待ち時間の解消を図る。 現行の9：45、10：15、10：30枠から9：30、9：45、10：00枠に変更する。 ・日本脳ドック学会認定施設定期報告について
H27/ 9/25	・姫路市医師会からの健診システム視察依頼について ・10月の金曜日の健診医師について ・健診部会からの報告
H27/10/30	・胃部X線検査中止基準について ・全国労働衛生団体連合会 精度管理調査評価結果について（胸部X線検査） ・健診部会からの報告 ・北斗病院からの健診視察依頼について
H27/11/27	・腹部CT検査の2重読影および判定について ・脳ドックコース内容再検討について 次の更新（平成32年）に向けて、検討部会を設置する。
H27/12/25	・平成28年3月の人間ドック診察1診対応について ・健診部会からの報告
H28/ 1/29	・胃がんリスク検診（ABC検診）の判定について B群を「C2」にするか、「G」にするかは、現行のB群の数を調べ、次回決定する。 ・胃部X線TV装置の入れ替え日程について ・職員家族・友人等への人間ドック受診PR文（1月～3月の閑散期料金）の配布について
H28/ 2/26	・胃がんリスク検診（ABC検診）の判定について B群の判定をC1からC2【経過観察を要します（6ヶ月後再検査）】に変更する 判定コメント：「ABC分類に異常を認めます、一度医療機関を受診してください」に変更する 変更日：平成28年4月1日受診者から ・平成28年度当初予算について ・長野県労働基準協会連合会からの健診システム視察依頼について ・平成28年度県立学校定期健康診断入札結果について ・CT、MRI機器保守点検に伴う停止日（案）について
H28/ 3/25	・人間ドックコース内胃カメラ受診者に、ピロリ抗体検査が追加発生する場合の対応について 内視鏡室にてピロリ抗体検査が追加発生した場合、内視鏡室で追加し保険診療とする。 ・脳ドック新規事業所について ・人間ドックオプション検査項目について

5.2.4 サービス向上委員会

1) 委員会目的

患者さまに良質で快適な医療を提供することを目的として、毎月第4火曜日に開催する。

2) 主な活動内容

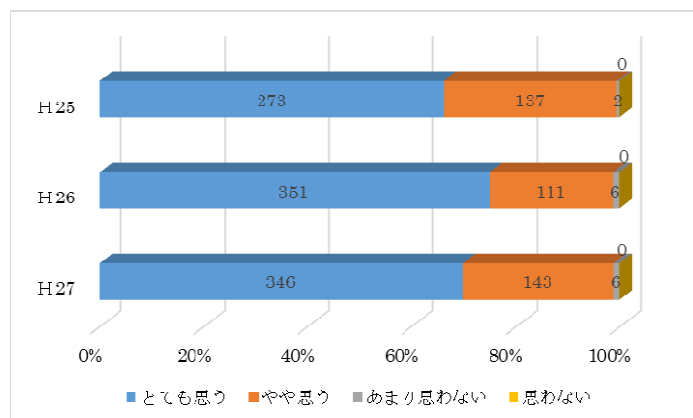
- ・ 病院ボランティア部会の実施（毎月第1月曜日）
- ・ あいさつ運動の実施（5月25日～29日、12月7日～11日）
- ・ 外来待ち時間調査（時間外：6月12日～14日・19日～21日、
昼 間：6月22日～27日）
- ・ 健診受診者満足度調査の実施（12月14日～19日）
- ・ 患者満足度調査の実施（2月15日～19日）
- ・ 外部講師招聘による接遇研修会の実施（2月24日）
「クレームを受け止める～カウンセリングスキル(技法)を身につける～」
- ・ 皆様の声報奨制度“きらり賞”の選考

■ 皆様の声報奨制度“きらり賞”について

- ・ “きらり賞”は、日常業務において、患者・受診者等病院利用者への対応が優れており、他の模範となる個人又は部署（グループ）を表彰するものです。
- ・ 1年間（1月～12月）に寄せられた投書と職員からの推薦を対象として、選考基準に照らし合わせ功績がとくに著しいと認められるものをサービス向上委員会委員の投票により決定します。
- ・ 平成27年度の“きらり賞”は、長年にわたり始業時刻前に敷地内外駐車場及び駐車場周辺の歩道の清掃活動を実施している職員に対し、積極的な社会貢献活動が他の模範となるとして授与しました。

■ 健診受診者満足度調査結果より

問）今後もセンターを利用したいと思いますか？

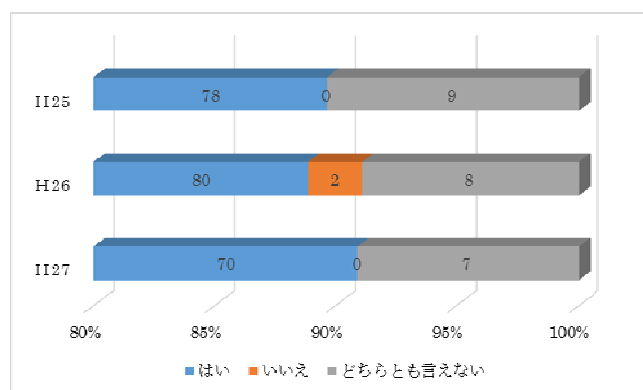
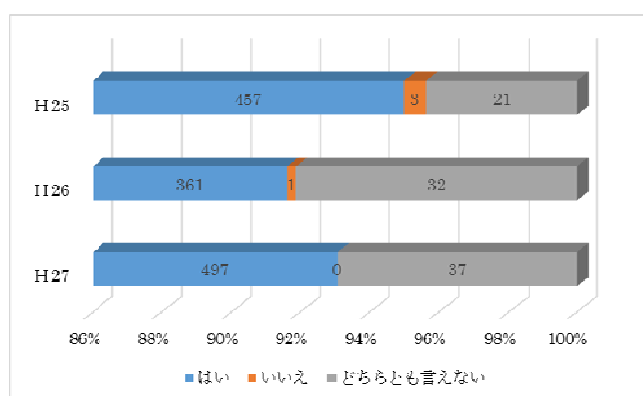


■ 患者満足度調査結果より

問) 今後もセンターを利用したいと思いますか？

[外来]

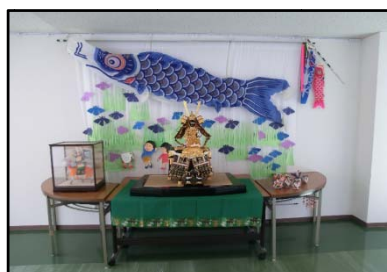
[入院]



■ ボランティア部会より

活動種類	活動内容
外来補助	外来受付の案内、車いすの補助、入院時の補助 など
四季飾り	病棟展示スペースの飾り付け
散髪	入院患者の散髪
絵手紙	絵手紙教室「若宮会」による作品展示と体験教室
押し花	押し花教室「なかむら」による作品展示と体験教室
絵画展示	「アート葵」による作品展示

こどもの日飾り



紅葉飾り



絵手紙展示



車いす清掃



散髪



押し花教室



5.2.5 I T 委員会

1) 委員会目的

診療情報とセンター全体の I T に関する計画・運用・管理を目的として、毎月第 3 金曜日（又は火曜日）に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H27/ 4/17	・今年度の委員会活動について ・診療支援・障害対応の体制について
H27/ 5/15	・電子カルテシステム更新「スケジュール」について ・電子カルテシステム更新「予算申請資料作成」について ・データ提出加算について ・U n i t B a s e デモ
H27/ 6/19	・電子カルテ・サブシステムの更新について ・電子カルテサーバ再起動（リブート）について ・モダンホスピタルショウの参加について
H27/ 7/17	・電子カルテ・サブシステムの更新について（継続） ・モダンホスピタルショウの報告
H27/ 8/21	・医療機器等備品購入計画の確認について ・訪問看護師の電子カルテの権限変更について ・電子カルテ・サブシステムの更新について（継続）
H27/ 9/18	・電子カルテ・サブシステムの更新について（継続） ・10月からの医師交代について
H27/10/23	・電子カルテ・サブシステムの更新について（継続） ・医事課のリモート保守について
H27/11/20	・電子カルテ・サブシステムの更新について（継続） ・U S B 等使用許可運用の変更について
H27/12/18	・電子カルテ・サブシステムの更新について（継続） ・マイナンバー導入に伴う漢字指名の取り扱いについて
H28/ 1/22	・電子カルテ・サブシステムの更新について（継続） ・電子カルテの更新について
H28/ 2/19	・電子カルテ・サブシステムの更新について（継続） ・平成28年度情報システムの保守費について ・医事課より予算に伴う機器導入について
H28/ 3/18	・電子カルテ・サブシステムの更新について（継続）

5.2.6 診療報酬委員会

1) 委員会目的

保険診療の請求について適正な執行、周知徹底を図ることを目的として、隔月1回定期的に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H27/ 5/28	平成27年2月・3月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H27/ 7/23	平成27年4月・5月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H27/ 9/24	平成27年6月・7月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H27/12/17	平成27年8月・9月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H28/ 1/28	平成27年10月・11月分の減点分析の対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H28/ 3/24	平成28年度診療報酬改定概要説明会

3) 主な活動内容

- ・診療報酬の減点分析報告と対策を検討した。
- ・委員会での内容を各医師へ報告した。
- ・平成28年度診療報酬改定の概要説明会を開催した

4) 査定率比較 (平成27年1月～平成27年12月)

診療月	保険組合	愛知県	医療センター
平成27年1月	支払基金	0.28%	0.01%
	国保連合会	0.23%	0.06%
平成27年2月	支払基金	0.29%	0.01%
	国保連合会	0.23%	0.01%
平成27年3月	支払基金	0.30%	0.13%
	国保連合会	0.25%	0.04%
平成27年4月	支払基金	0.27%	0.08%
	国保連合会	0.21%	0.02%
平成27年5月	支払基金	0.29%	0.04%
	国保連合会	0.23%	-0.01%
平成27年6月	支払基金	0.30%	0.10%
	国保連合会	0.22%	0.07%
平成27年7月	支払基金	0.26%	0.08%
	国保連合会	0.23%	0.07%
平成27年8月	支払基金	0.26%	0.09%
	国保連合会	0.23%	0.02%
平成27年9月	支払基金	0.30%	0.16%
	国保連合会	0.23%	0.00%
平成27年10月	支払基金	0.38%	0.00%
	国保連合会	0.22%	-0.01%
平成27年11月	支払基金	0.32%	0.03%
	国保連合会	0.24%	-0.01%
平成27年12月	支払基金	0.33%	-0.01%
	国保連合会	0.23%	0.00%

※ 再審査請求によって査定点数より復点が多い場合は、マイナス%となっている。

5.2.7 内視鏡室運営委員会

1) 委員会目的

「内視鏡の安全かつ効率的な運営」を目的として、奇数月第3木曜日に開催する。
また、内視鏡室運営に関わる問題が生じた場合は、随時委員会を開催し迅速に対応する。

2) 会議内容

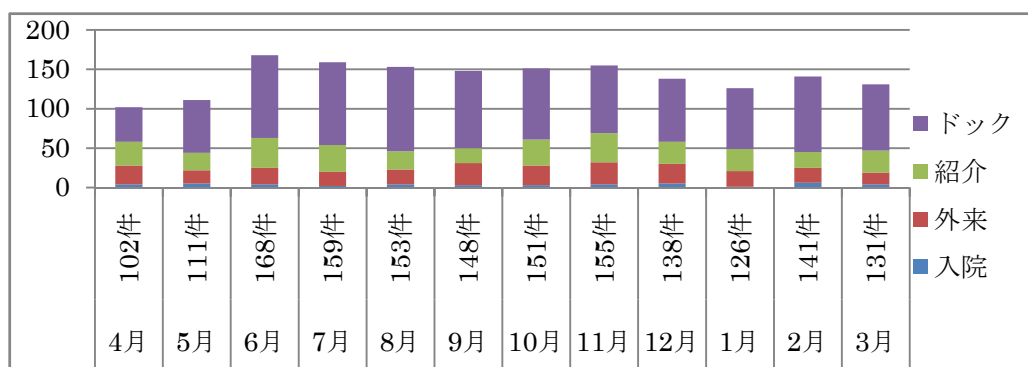
開催日	会議内容
H27/ 5/28	・同日の【尿素呼気試験】検査とCT検査（主目的が胃、胃周囲の占拠性病変の検索）の注意について
H27/ 7/16	・抗血小板剤、抗凝固剤服用患者マニュアルの認識統一と改善について ・高水準消毒剤の濃度確認時期について
H27/ 9/17	・抗血小板剤、抗凝固剤服用患者マニュアルの変更について ・胃カメラ検査時の病理組織細胞診、ピロリ菌検査結果報告方法について ・胃カメラ検査時間枠変更に伴う予約患者移動について
H28/ 1/29	・上部消化管造影検査案内書の変更について ・経口腸管洗浄剤（モビプレップ）の服用方法について
H28/ 3/24	・大腸内視鏡検査水曜日枠のセデーション（ミタゾラム）使用運用について

3) 主な活動内容

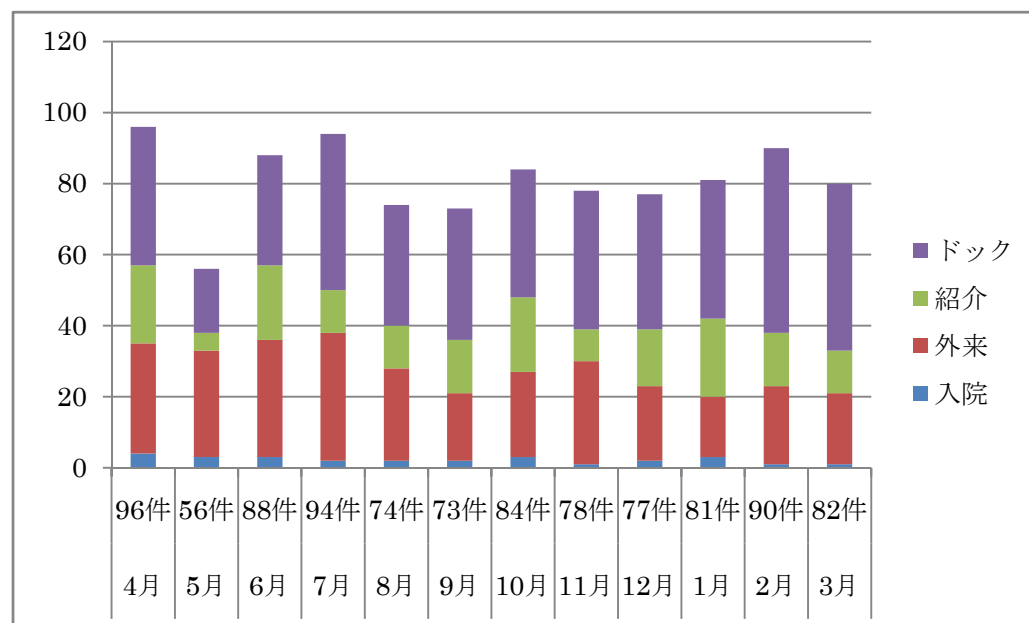
平成27年度 診療実績

区分		件数
上部消化管内視鏡 1683件	経鼻上部消化管内視鏡	713件
	内視鏡的胃ろう造設術	10件
	鎮痛・鎮静剤併用	11件
下部消化管内視鏡 973件	内視鏡的大腸ポリープ切除術	312件
	内視鏡的大腸粘膜切除術	67件
	鎮痛・鎮静剤併用	39件

上部消化管内視鏡月別・発生別推移



下部消化管内視鏡月別・発生別件推移



年齢構成別患者数

項目	年齢	件数
上部消化管内視鏡 1,683 件	0～14 才	0 件
	15～64 才	1,045 件
	65 才以上	638 件
下部消化管内視鏡 973 件	0～14 才	0 件
	15～64 才	535 件
	65 才以上	438 件

癌所見発見数とその後の経過

区分			件数
上部消化管内視鏡	26 件	医療センターで手術	5 件（1 件手術不適応含む）
		他病院へ紹介	21 件
下部消化管内視鏡	32 件	医療センターで手術	5 件
		他病院へ紹介	25 件
		6 か月後の経過観察	2 件

大腸内視鏡治療における偶発症発生率

区分	医療センター	全国平均
ポリペクトミー後出血	0.205%（2 件）	0.274%

※全国平均：日本消化器内視鏡学会「消化器内視鏡関連の偶発症に関する第5回全国調査報告」より

5.2.8 栄養管理委員会

1) 委員会目的

患者さまの栄養管理と適切な食事提供を目的として、毎月第3月曜日に開催する。

2) 活動実績

項目		実施日	内 容	対象者
食事満足度調査	上半期	H27/8/17 ～8/21	無記名記入方式	対象者 75 名 回答率 79%
	下半期	H28/3/14 ～3/18	無記名記入方式	対象者 68 名 回答率 78%
職員衛生研修会		H28/3/23	黄色ブドウ球菌について	従業員 17 名

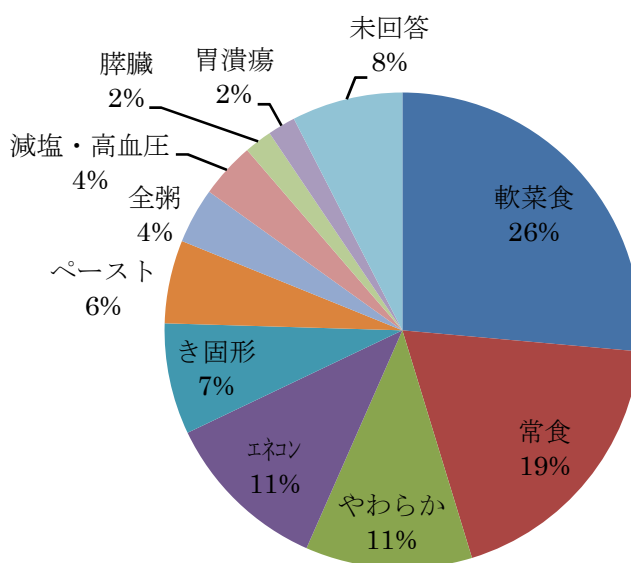
3) 食事満足度調査（平成 27 年 3 月） 結果報告

（1）患者（年齢別）内訳 （人）

年齢	男性	女性	未回答
	人数	人数	人数
40 代	2	0	0
50 代	3	3	0
60 代	1	2	0
70 代	10	4	0
80 歳以上	9	17	0
未回答	1	0	1
合計	26	26	1

（2）食種内訳 （人）

食種	人数
軟菜食	14
常食	10
やわらか	6
エネコン	6
き固形	4
ペースト	3
全粥	2
減塩・高血圧	2
脾臓	1
胃潰瘍	1
未回答	4



(3) 食事時間について (人)

時間	早い	ちょうど良い	遅い	未回答
朝食	3	39	11	0
昼食	2	50	1	0
夕食	6	44	2	1

(4) 量について (人)

量	多い	ちょうど良い	少ない	未回答
主食	23	27	3	0
おかず	17	32	3	1

(5) 温度について (人)

温度	ちょうど良い	冷めている	未回答
主食	48	5	0
おかず	48	4	1

(6) 主食の硬さについて (人)

主食の硬さ	人数
硬い	2
ちょうど良い	43
軟らかい	8
未回答	0

(7) おかずの味について (人)

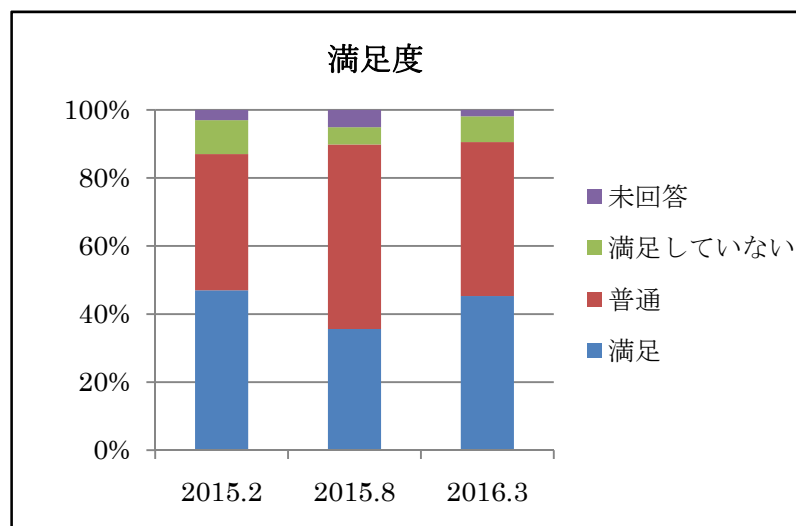
おかずの味	人数
おいしい	25
普通	23
おいしくない	5

(8) 盛り付けについて (人)

盛り付け	人数
良い	25
普通	24
悪い	2
未回答	2

(9) 食事の満足について (人)

お食事の満足度	人数
満足	24
普通	24
満足していない	4
未回答	1



5.2.9 NST委員会

1) 委員会目的

栄養障害を生じている、又はそのリスクがある患者さまの栄養療法を支援することを目的として、奇数月第2火曜日に開催する

2) 会議内容

開催日	主な内容
H27/ 5/12	・活動報告 ・現行のカンファレンス・回診方法について評価・検討 ・栄養補助食品の選定
H27/ 7/21	・活動報告 ・サルコペニアとロイシン強化栄養補助食品について
H27/ 9/ 8	・活動報告 ・濃厚流動食見直し・変更 ・院内全体研修会
H27/11/17	・活動報告
H28/ 1/12	・活動報告 ・栄養補助食品の選定
H28/ 3/ 8	・活動報告

3) 活動実績

介入数	実施症例数	延べ患者数	1回あたり患者数
NST	310 症例	484 名	11.5 名
摂食嚥下アセスメント	13 症例	13 名	—

4) 院内研修会

①開催日：平成 27 年 11 月 17 日

②テーマ：「加齢による筋力低下とアミノ酸栄養」

③参加数：45 名

5.2.10 褥瘡防止対策委員会

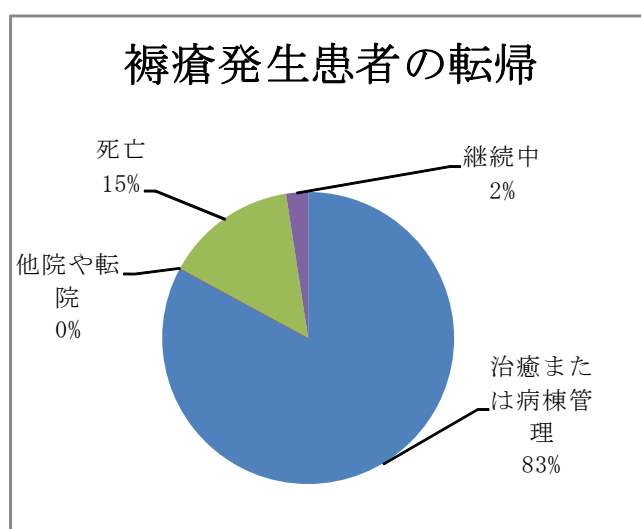
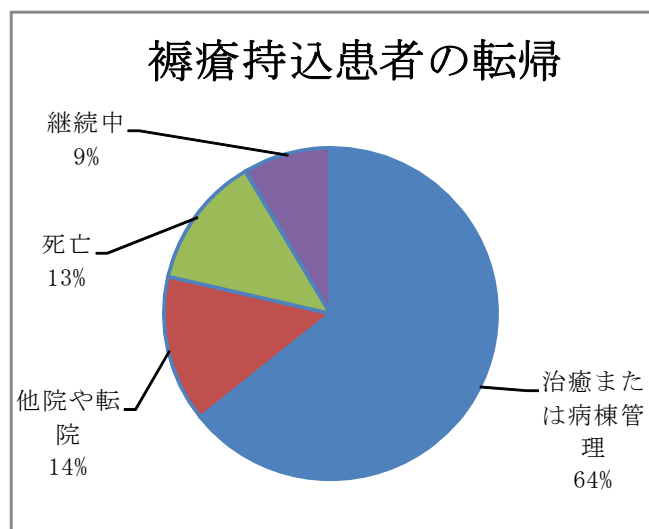
1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける院内褥瘡防止を推進することを目的として、年 4 回定期的に開催する。

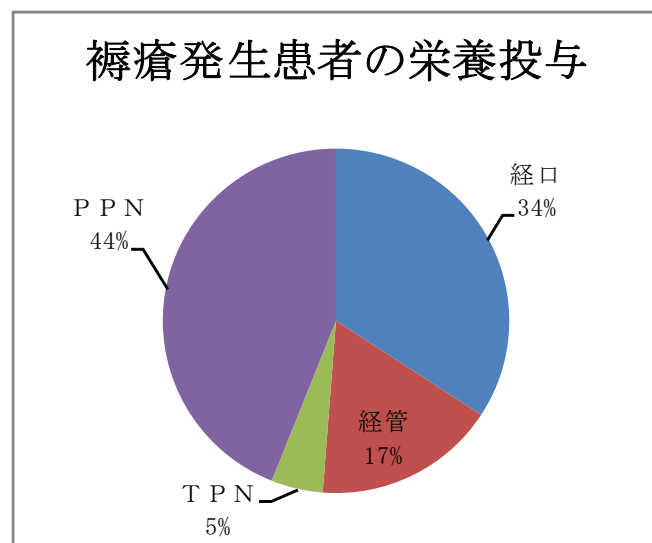
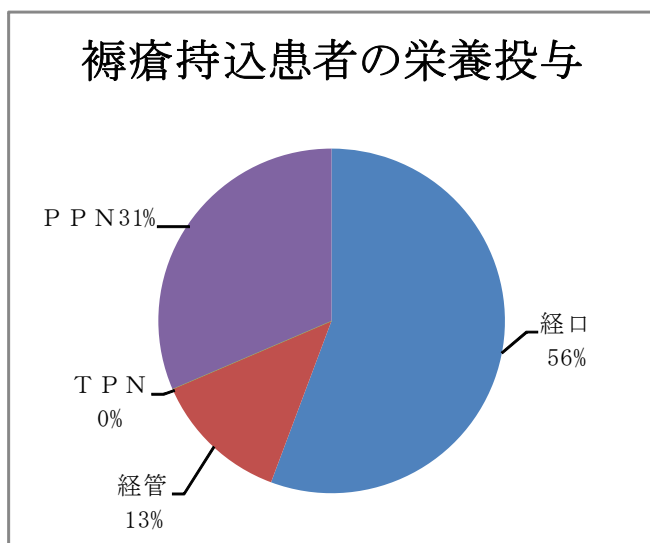
2) 活動内容

委員会開催日	会議内容
H27/ 4/27	委員会及び要綱の確認 平成26年度褥瘡院内発生・持ち込み状況 褥瘡マニュアルについて 褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H27/ 7/27	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H27/10/26	褥瘡防止対策委員会主催の研修会報告 皮膚剥離への医師不在時の対応について 創傷材料について
H28/ 1/25	皮膚剥離（スキンテア）への医師不在時の対応について

- ・褥瘡回診を、毎月曜日に実施し（重症例は木曜日も追加）、年間44回、127名に対し、のべ441回の介入を行った。
- ・他院または外来入院からの持ち込みの褥瘡は70件、当院の発生は41件であり、褥瘡以外の創傷も16件あった。
- ・平均介入回数は、持ち込みの褥瘡が、4.6回、発生は2.2回であり、院内での発生事例では短期間で改善したものが多かった。
- ・褥瘡持ち込み患者、褥瘡発生患者の転帰は以下のグラフのとおりである。
- ・転帰のうち、治癒または病棟管理レベルは、Ⅰ度～Ⅱ度で感染や浸出液もほとんどない軽症のものも含む。



- ・褥瘡持ち込み患者、褥瘡発生患者の栄養投与は、以下のグラフのとおりである。
T P Nは、中心静脈栄養による高カロリー輸液を示す。P P Nは、末梢静脈栄養を示す。



- ・褥瘡発生患者41名の直近の血中アルブミン値は、平均、2.5g/dlであった。
- ・全身の栄養状態が悪く、末梢点滴のみの事例では、感染予防を最優先した。死亡例の中に、褥瘡の感染によるものは一例もなかった。
- ・褥瘡防止対策委員会主催の研修会として、「陰圧閉鎖療法とスキンテア（表皮剥離）への対応」の表題で、平成27年9月29日（火）17：30～18：30に開催した。参加者は66名、実例等も多く、満足度の高い研修であった。その後、「皮膚剥離（スキンテア）の医師不在時の対応」のマニュアルを作成し、早期の適切な対応が出来るように整備した。

5.2.11 薬事材料委員会

1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける使用薬品・材料の評価及び新規採用の検討を行うことにより、的確な治療法の確保、最大限の治療効果及び効率的な医薬品・材料の使用を推進することを目的として、隔月第1金曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H27/ 4/ 3	・ 医薬品情報、診療材料について
H27/ 6/ 5	・ 医薬品情報、新規採用医薬品・診療材料について
H27/ 8/ 7	・ 医薬品情報、新規採用医薬品・診療材料について
H27/10/ 2	・ 医薬品情報、新規採用医薬品・診療材料について
H27/12/ 4	・ 医薬品情報、新規採用医薬品について
H28/ 2/ 5	・ 医薬品情報、新規採用医薬品・診療材料について

3) 主な活動内容

- ・ 医薬品の新規採用の検討、採用削除品目の検討をした。
(平成27年度採用品目7品目、削除品目16品目)
- ・ 採用医薬品を後発医薬品(50品目)に変更し後発医薬品採用割合を26.7%にした。
- ・ 医薬品販売品名・剤形変更についての報告。(14件)
- ・ 医薬品販売中止品目の対応検討。(3件)
- ・ 診療材料の採用等の検討。(6件)

5.2.12 臨床検査適正化・輸血療法委員会

1) 委員会目的

臨床検査の精度の向上に関する活動を行うこと及び輸血療法を安全で適切に行うことを目的として、偶数月第3水曜日に開催する。

2) 活動内容

血液製剤の使用が適切であるかを審議し、使用件数の報告を行っている。

輸血製剤		H27年度	H26年度
R B C		1 8 件	2 4 件
	破棄	3 件	0 件
F F P		0 件	0 件
	破棄	0 件	0 件
アルブミン		7 件	6 件
	破棄	0 件	1 件

●年4回行われる精度管理調査報告により臨床検査の精度を評価している。

精度管理実施団体	参加 施設数	評価 対象数	評価 A+B		評価 C		評価 D	
			件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
日本医師会	3,100	106	106	100	0	0	0	0
日本臨床衛生検査技師会	3,200	101	101	100	0	0	0	0
愛知県臨床衛生検査技師会	90	107	107	100	0	0	0	0
全国労働衛生団体連合会	300	74	74	100	0	0	0	0

- A、B、C、D評価は目標値±評価幅で評価を行っている
- 評価A、もしくは評価Bとなることが望ましい
- 評価対象分野は、臨床化学、免疫血清、血液検査

5.2.13 入退院判定会

1) 委員会目的

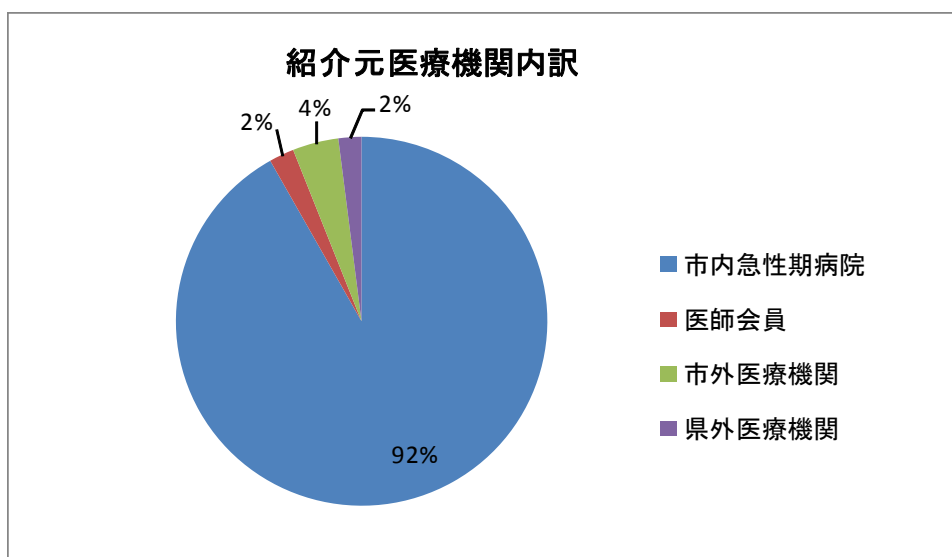
適切な受け入れと円滑な入退院調整、療養病棟への継続入院の検討を目的として、毎週火曜日に開催する。

2) 会議内容

- ・ 入退院判定会の構成委員は医師、看護職、MSW、医事課職員である。
- ・ 入退院判定会の受入れマニュアルに準じて、各職種の専門性を活かし、ケース検討を行っている。
- ・ 病棟稼働率、入院調整状況を共有している。
- ・ 長期入院患者の把握と退院困難ケースの現状と今後の方向性の検討を実施している。

3) 活動内容

開催月	回数	会 議 内 容
H27/ 4	4回	・ 検討67件（院外57件・院内10件）
H27/ 5	3回	・ 検討42件（院外37件・院内5件）
H27/ 6	5回	・ 検討57件（院外47件・院内10件）
H27/ 7	4回	・ 検討39件（院外35件・院内4件）
H27/ 8	4回	・ 検討51件（院外51件・院内0件）
H27/ 9	5回	・ 検討39件（院外39件・院内0件）
H27/10	4回	・ 検討43件（院外41件・院内2件）
H27/11	4回	・ 検討46件（院外46件・院内0件）
H27/12	4回	・ 検討41件（院外40件・院内1件）
H28/ 1	4回	・ 検討52件（院外51件・院内1件）
H28/ 2	4回	・ 検討53件（院外53件・院内0件）
H28/ 3	5回	・ 検討57件（院外56件・院内1件）



- ・ 検討ケースは市内急性期病院からの紹介が92%であった。
- ・ それ以外は医師会員、市外、県外の医療機関からの紹介であった。
- ・ 受入れ率は98.7%であり、紹介から受入れまでの待機日数は平均7日である。

5.2.14 災害対策委員会

1) 委員会目的

災害の予防、防止及び災害発生時の災害復旧を早急に行なわせ、人命の安全、財産の保全につとめることを目的として、毎月第1金曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H27/ 4/10	・平成27年度 委員会新委員について ・防災備品及び非常食について（購入品目の検討）
H27/ 5/8	・防災備品及び非常食について（購入品目の検討） ・第1回（9月実施）防災訓練について ・トランシーバ交信状況について
H27/ 6/ 5	・防災備品及び非常食について（購入品目の検討） ・第1回防災訓練について ・トランシーバ交信状況の調査報告 ・自動販売機「緊急時飲料提供ベンダー」の調査報告
H27/ 7/ 3	・第1回防災訓練について ・免震体験車の無料体験について（協力：ブリヂストン） ・非常食（梅がゆ）の配布について
H27/ 8/ 7	・第1回防災訓練について
H27/ 9/ 4	・第1回防災訓練について
H27/10/ 2	・第1回防災訓練の反省について ・非常食（さばの味噌煮）の配布について ・防災備品の各部署への配付について
H27/11/ 6	・第2回（2月実施）防災訓練について・
H27/12/ 4	・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会実施について ・非常食（サバイバルパン）の配布について
H28/ 1/ 8	・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会について
H28/ 2/ 5	・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会について
H28/ 3/ 4	・第2回防災訓練の反省について ・放水訓練実施報告について

3) 主な活動内容

- ・第1回防災訓練（9月25日（金）14時～）

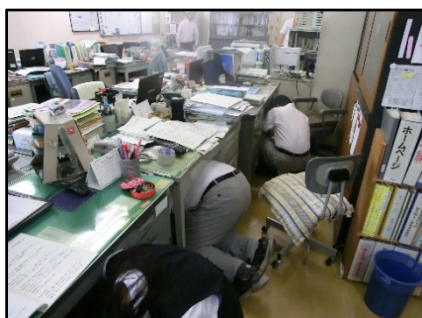
震度6弱の地震が発生。負傷者多数あり。トリアージセンターを開設し、負傷者の救出と応急処置を行う。厨房から出火したため初期消火と入院患者の避難誘導を行った。免震車による地震体験も終日実施。

（模擬勤務者延べ60人、模擬患者15人）

- ・エアーストレッチャー講習会（1月29日（金）、2月17日（水））
日本エアーストレッチャー㈱から講師（2名）を招き、エアーストレッチャーの基本操作を学んだ。2日間で75名の参加あり。
- ・第2回防災訓練（2月25日（木）14時～）
夜間の火災を想定。3Aリネン庫から出火。消火器で初期消火するも鎮火しないため、エアーストレッチャー等を使用して、入院患者を2階の避難場所まで避難させた。訓練後、中棟2階廊下の屋内消火栓から屋外へ向けての放水訓練を実施した。（模擬勤務者23人、模擬患者25人）

【訓練風景】

第1回防災訓練



エアーストレッチャー講習会



第2回防災訓練



5.2.15 広報委員会

1) 委員会目的

広報活動の推進と運営を行うことを目的として、不定期に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H27/ 6/ 4	・医療センターだより 57号について ・市民公開講座について
H27/ 8/31	・医療センターだより 58号について ・市民公開講座について
H27/10/29	・医療センターだより 59号について ・平成26年度版『病院年報』について
H28/ 3/14	・医療センターだより 60号について ・平成28年度 市民公開講座について ・医療センターだより リニューアルについて ・平成27年度 医療センターだより実績報告及び 28年度発行予定について

3) 主な活動内容

- ・年4回（4・7・10・1月）の医療センターだよりの発行。
- ・各種パンフレット（病院案内、回復期リハ病棟案内、療養病棟案内）の内容の見直しと発行。
- ・ホームページの更新。



Vol. 56

「認知症対応病院モデル事業について」

- ・認知症サポートチームの活動について
- ・こんにちは！豊田地域ケア支援センターです
- ・新任医師の紹介



Vol. 58

救急医療功労者表彰を受賞して

- ・在宅療養支援病院の役割について
- ・こんにちは！豊田地域居宅介護支援センターです
- ・ストレスチェック制度が始まります



Vol. 57

在宅医療推進室に関する協定の締結について

- ・在宅医療の推進に関する連携協定とは？
- ・外来のご案内
- ・食中毒にご注意を！



Vol. 59

新年のご挨拶

- ・当院における健診事業のご案内
- ・ご存じですか？『地域医療連携』
- ・インフルエンザについて

5.2.16 衛生委員会

1) 委員会目的

職員の健康保持及び職場環境の改善を目的として、毎月第3木曜日に開催する

2) 会議内容

開催日	会議内容
H 27/ 4/16	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・職員の健康管理（健康診断等）の年間スケジュールについて ・平成27年度衛生委員会の委員について
H 27/ 5/21	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・健康診断の結果について
H 27/ 6/25	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・健康診断の結果の有所見者の前年度比較 ・メンタルヘルス推進担当者の選任について
H 27/ 7/16	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・職場代表者からの健康診断の追加項目の意見・要望について
H 27/ 8/20	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・定期健康診断の実施について ・職場代表者からの健康診断の追加項目の意見・要望についての検討 ・労働災害の発生について
H 27/ 9/17	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・インフルエンザワクチンの接種について
H 27/ 10/15	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・作業環境測定（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）の結果について ・健康診断項目について
H 27/ 11/19	・職員定期健康診断の結果について ・健康保険加入者の生活習慣病予防健診の実施について ・労働災害の発生について
H 27/ 12/17	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・職員定期健康診断の結果について ・ストレスチェックの規程の検討について
H 28/ 1/21	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・V D T健康診断の実施について ・職員定期健康診断の実施について ・ストレスチェックの規程の検討について
H 28/ 2/18	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・ストレスチェックの規程の検討について
H 28/ 3/17	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・作業環境測定結果（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）について ・V D T健康診断の結果について ・平成28年度の委員の選任について ・ストレスチェックの規程の検討について

3) 主な活動内容

- ・産業医による職場巡視を月1回、衛生管理者による職場巡視を週1回実施
- ・職員健康診断に関する報告、検討
- ・労働災害に関する報告、検討
- ・メンタルヘルス研修会の開催
- ・ストレスチェックの規程の検討

6 講演、学会、研究会等の発表

【市民公開講座】

- ・ 豊田市福祉センター（10月31日）
- ・ テーマ「リハビリテーションロボットが作る未来」
- ・ 講師：藤田保健衛生大学副学長 教授 才藤栄一 【出席131名】

【学会発表・講演等】

- ・ 日本外科学会定期学術集会（4月18日開催）
演題「幹細胞移植におけるエボラダンの効果の検討」 ○消化器外科：林千紘
- ・ 日本放射線技術学会総合学術大会（4月16日～19日開催）
演題「A study of the characteristics of automatic exposure mechanism」
○診療放射線科：柴田和宏
- ・ 第17回 日本在宅医学会もりおか大会（4月25日～26日開催）
演題「在宅医療、看取りを促進する因子について」
○総合診療科：寺澤佳洋、浅井幹一、大杉泰弘
- ・ STFM (Society of Teachers of Family Medicine)（4月28日開催）
演題「Let's Work Together: Building Family Medicine Residency Infrastructure Internationally」
○総合診療科：大杉泰弘
- ・ トヨタ記念病院看護師向け豊田地域医療センター在宅医療プレゼンテーション
（5月15日開催） 演題「豊田の在宅医療」 ○総合診療科：大杉泰弘
- ・ 日本プライマリ・ケア連合学会
第10回 春季生涯学習教育セミナーワークショップ（5月17日開催）
演題「リーダーシップとは」 ○総合診療科：大杉泰弘
- ・ サービス機関連携協議会 総会（5月26日開催）
演題「地域包括ケアと在宅医療」 ○総合診療科：大杉泰弘
- ・ IASGO（6月13日～14日開催）
演題「New strategy of cell transplantation: Hepatocyte transplantation using remnant organ with hepatocellular carcinoma after hepatectomy」
○消化器外科：伊藤良太郎
- ・ 第4回介護支援専門員勉強会（7月30日開催）
演題「経腸栄養の理解と対応」 ○総合診療科：寺澤佳洋
- ・ 日本プライマリ・ケア連合学会
第27回 学生・研修医のための家庭医療学夏季セミナー（8月1日開催）

演題「マーケティングとは」

○総合診療科：大杉泰弘

- ・福岡県多職種研修会講師（8月29日開催）

演題「福岡県在宅チーム医療を担う地域リーダー研修会講師」

○総合診療科：大杉泰弘

- ・豊田加茂医師会講演会（9月5日開催）

演題「異常ヘモグロビンについて」

○臨床検査科：加藤隆正

- ・第26回 日本老年医学会東海地方会（9月26日開催）

演題「豊田地域医療センターにおける高齢死亡患者の背景と終末期に対する意識」

○総合診療科：山本俊輔、浅井幹一

- ・浜松医科大学地域家庭医療学講座・静岡家庭医療センター講演（10月8日開催）

演題「在宅医療とマーケティングについて」

○総合診療科：大杉泰弘

- ・第16回 人間福祉学会（10月25日開催）

演題「地域の医療・福祉の未来」

○看護部：天野理予

- ・療養環境を高める会 三河（11月15日開催）

演題「転倒転落予防の研修会報告」

○医療安全推進室：粕谷敦、三枝由美、影山重幸

- ・第17回 豊田加茂地区認知症研究会（11月14日開催）

演題「認知症と在宅医療」

○総合診療科：大杉泰弘

- ・トヨタ記念病院研修医向け講演（12月11日開催）

演題「豊田地域医療センターと在宅医療研修」

○総合診療科：大杉泰弘

- ・宇部興産中央病院（2月6日開催）

演題「総合診療プログラムの作り方」

○総合診療科：大杉泰弘

- ・地域包括支援センターとよた苑、豊田地域ケア支援センター合同企画

ケアマネジャー勉強会（2月2日開催）

演題「21世紀の訪問診療」

○総合診療科：大杉泰弘

- ・日本プライマリ・ケア連合学会

第11回 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー（2月20日開催）

演題「訪問リハ（その価値に気づいていますか？）」 ○総合診療科：大杉泰弘

- ・日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック代議員会・ポートフォリオ発表会（3月13日開催）

演題「6段階アプローチ法を用いた医学部6年生対象講義の事例」

○総合診療科：大杉泰弘

7 研修状況

7.1 研修会

所属	院外研修	院内研修	発表
共通・病院全体	4回	2回	
理事長	3回	0回	
院長	3回	0回	
副院長	9回	0回	
診療部	27回	1回	6回
看護部	43回	78回	1回
薬剤部	37回	21回	
診療放射線科	7回	16回	1回
臨床検査科	20回	29回	1回
リハビリテーション科	25回	21回	
栄養科	12回	15回	
地域連携・在宅医療支援センター	0回	0回	
在宅支援課	37回	0回	
医療連携課	30回	0回	
訪問看護科	27回	30回	
事務部	2回	0回	
総務課	22回	8回	
管理課	2回	0回	
医事課	10回	0回	
健診センター	10回	4回	
健診事業課	15回	0回	
健診看護科	1回	0回	
保健指導課	4回	0回	
医療安全推進室	5回	0回	3回
教務科	15回	0回	
事務課	0回	0回	
事務局	11回	0回	
院内感染対策委員会・ICT委員会	29回	18回	
医療安全管理委員会	4回	6回	
NST委員会	0回	1回	
災害対策委員会	0回	1回	
診療報酬委員会	0回	1回	
褥瘡防止対策委員会	0回	1回	
IT委員会	1回	0回	
DST委員会	0回	1回	
セーフティマネジメント部会	0回	36回	
計	415回	290回	12回

8 実習状況

8.1 学生実習

学校名	受入数	実習期間	受入担当
愛知医療学院短期大学	1	H28/ 2/29～H28/ 3/ 4	作業療法
愛知県看護協会	2	H28/ 1/18～H28/ 2/18	訪問看護
愛知県立総合看護専門学校	2	H27/10/ 5～H27/10/16	訪問看護
合同会社P－BEANS	4	H27/ 4/ 1～H27/ 4/30	訪問看護
作業療法士会（高校生見学）	2	H27/ 8/17～H27/ 8/21	作業療法
中部リハビリテーション専門学校	1	H27/ 7/27～H27/ 9/11	理学療法
	2	H27/ 9/ 2～H27/ 9/ 3	理学療法
東北福祉大学	2	H28/ 2/22～H28/ 2/26	理学療法
	2	H28/ 2/29～H28/ 3/ 4	理学療法
	2	H28/ 3/ 7～H28/ 3/11	理学療法
名古屋女子大学短期大学部	1	H27/ 8/10～H27/ 8/14	医事課
日本赤十字豊田看護大学	2	H27/ 5/19～H27/ 5/22	訪問看護
	2	H27/ 5/25～H27/ 5/28	訪問看護
	2	H27/ 6/ 9～H27/ 6/12	訪問看護
	2	H27/ 6/ 9～H27/ 6/12	地域ケア
	2	H27/ 6/15～H27/ 6/18	訪問看護
	2	H27/ 6/15～H27/ 6/18	地域ケア
	3	H27/ 6/30～H27/ 7/ 3	訪問看護
	3	H27/ 7/ 6～H27/ 7/ 9	訪問看護
	2	H27/11/24～H27/11/26	訪問看護
	2	H27/12/14～H27/12/17	訪問看護
日本福祉大学	1	H27/11/ 2～H27/12/11	作業療法
	1	H28/ 2/15～H28/ 2/19	作業療法
東名古屋病院附属リハビリテーション学院	1	H27/ 9/24～H27/10/30	作業療法
	1	H27/ 9/24～H27/10/30	理学療法
藤田保健衛生大学	1	H27/ 7/27～H27/ 8/ 8	医事課
	1	H27/ 8/17～H27/ 8/29	医事課
東海医療科学専門学校	2	H28/ 2/ 3	作業療法
13校	51		

8.2 職場体験学習

学 校 名	日 程	参加人数
末野原中学校	H27/6/9・10	2人
梅坪台中学校	H27/6/16・17	3人
	H27/8/3・4	3人
猿投中学校	H27/6/11・12	2人
高橋中学校	H27/6/11・12	1人
崇化館中学校	H27/8/5・6	1人
井郷中学校	H27/6/18・19	3人
藤岡中学校	H27/9/16	2人
朝日丘中学校	H27/10/21	2人
美里中学校	H27/11/11・12	1人
猿投台中学校	H27/11/11・12	2人
10校		22人

主に豊田市内の中学生を対象に、愛知県教育委員会が推進する『あいち・出会いと体験の道場』に基づいて行う職場体験学習を通して、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなどを学ぶ機会を提供する。また、豊田市における医療センターの役割について知ってもらう。